

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJ カレンダー	2
平成9年度役員選挙について	5
研究発表会開催通知	12
第65回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	12
第115回計算機アーキテクチャ研究会	12
第22回グループウェア研究会	13
第71回ヒューマンインタフェース研究会	13
第113回ソフトウェア工学研究会	14
第56回アルゴリズム研究会	14
第63回情報システム研究会	15
第16回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	15
第118回自然言語処理研究会	16
第12回数理モデル化と問題解決研究会	17
第104回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	17
第12回プログラミング研究会	17
第6回デジタル・ドキュメント研究会	18
平成9年度研究会のお知らせ	21
平成9年度研究発表会開催予定	24
平成9年度研究会登録申込書	27
研究会発表申込書	28
「研究グループ」について	29
「電子化知的財産・社会基盤研究グループ」新設について	29
平成9年度シンポジウム等行事予定一覧	30
情報処理学会第54回全国大会（1997年前期）プログラムと参加案内（2）	31
第10回学協会共通問題に関する討論会	32
情報処理学会第54回全国大会（於：千葉工業大学）参加および論文集予約案内	33
情報処理学会第54回全国大会予約申込書	34
全国大会講演論文集継続購入者のご案内	35
情報処理学会「行事」申込書	36
第1回ワールドワイドコンピューティング国際会議参加者募集	37
継続セミナー96「ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術」参加者募集	38
「グラフィクスとCADシンポジウム」論文募集	39
「マルチメディア、分散、協調とモバイル（DiCoMo）ワークショップ」論文募集	40
会員の皆様へのお知らせ・お願い	41
本部だより	42
会報	44
教材募集	45
議案内	38

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
★第 19 回音楽情報科学研究会	NTT 厚木研究セン タ	平成 9 年 2 月 20 日 (木) ～ 21 日 (金)	当日のみ	38-1 7P	研
第 84 回グラフィクスと CAD 研究会	情報処理学会	2 月 21 日 (金)	当日のみ	38-1 8P	研
第 74 回システムソフトウェアとオペレーテ ィング・システム研究会	電機大	2 月 27 日 (木) ～ 28 日 (金)	当日のみ	38-1 8P	研
第 81 回マルチメディア通信と分散処理研究 会	電機大	2 月 27 日 (木) ～ 28 日 (金)	当日のみ	38-1 8P	研
第 65 回ハイパフォーマンスコンピューテ ィング研究会	札幌ソフトウェア 専門学校	3 月 6 日 (木)	当日のみ	38-2 12P	研
第 115 回計算機アーキテクチャ研究会	札幌ソフトウェア 専門学校	3 月 7 日 (金)	当日のみ	38-2 12P	研
第 22 回グループウェア研究会	情報処理学会	3 月 6 日 (木)	当日のみ	38-2 13p	研
第 71 回ヒューマンインタフェース研究会	東北大	3 月 6 日 (木) ～ 7 日 (金)	当日のみ	38-2 13p	研
第 113 回ソフトウェア工学研究会	富士通幕張ラボラ トリ	3 月 7 日 (金)	当日のみ	38-2 14p	研
情報処理学会第 54 回全国大会	千葉工大	3 月 12 日 (水) ～ 14 日 (金)	当日可	38-2 31p	事
第 56 回アルゴリズム研究会	NTT 厚木研究開発 センタ	3 月 14 日 (金)	当日のみ	38-2 14p	研
第 63 回情報システム研究会	東洋大	3 月 19 日 (水)	当日のみ	38-2 15p	研
第 16 回オーディオビジュアル複合情報処理 研究会	NTT 沖縄	3 月 19 日 (水)	当日のみ	38-2 15p	研
第 118 回自然言語処理研究会	長崎大	3 月 21 日 (金) ～ 22 日 (土)	当日のみ	38-2 16p	研
第 12 回数理モデル化と問題解決研究会	川崎製鉄	3 月 24 日 (月)	当日のみ	38-2 17p	研
第 104 回コンピュータビジョンとイメージメ ディア研究会	東大	3 月 27 日 (木)	当日のみ	38-2 17p	研
第 12 回プログラミング研究会	NTT 武蔵野研究セ ンタ	3 月 28 日 (金)	当日のみ	38-2 17p	研
第 6 回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	3 月 28 日 (金)	当日のみ	38-2 18P	研
連続セミナー 96 電子商取引の現状と将来	工学院大	3 月 28 日 (金)	定員になり次第	38-2 38p	事
平成 9 年電気・情報関連学会連合大会	日本学術会議講堂	8 月 22 日 (金)		38-6 掲載予定	事

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	当日可	37-11 19p	事

【国 際 会 議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
★第 1 回ワールドワイドコンピューティング国際会議	筑波エキスポセンター，筑波第一ホテル	平成 9 年 3 月 10 日 (月) ～ 11 日 (火)	事務局	38-2 37p	国
★The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS 97)	ベルリン (ドイツ)	4 月 9 日 (水) ～ 11 日 (金)	事務局	37-12 26p	国

【論 文 募 集】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	論文(応募)締切	掲載 ページ	担当
★北陸支部 平成 8 年度北陸地区学生による研究発表会	福井高専	平成 9 年 3 月 12 日 (水)	平成 9 年 2 月 21 日 (金)	37-10 32p	陸
北海道支部 情報処理北海道シンポジウム '97	北大	5 月 7 日 (水) ～ 8 日 (木)	3 月 31 日 (月)	38-2 42p	北
グラフィクスと CAD シンポジウム	早大	6 月 4 日 (水) ～ 5 日 (木)	3 月 7 日 (金)	38-2 39p	研
オブジェクト指向 '97 シンポジウム	タイム 24 ビル	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	2 月 14 日 (金)	38-1 22p	研
マルチメディア，分散，協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	ニセコいこいの村	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	3 月 28 日 (金)	38-2 40p	研
★第 27 回安全工学シンポジウム講演	日本学術会議講堂	7 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金)	3 月 14 日 (金)	38-1 23p	編
DA シンポジウム '97	ラフォーレ琵琶湖	7 月 10 日 (木) ～ 12 日 (土)	3 月 12 日 (水)	38-1 24p	研
論文誌特集号 「マルチメディア分散・協調コンピューティング」	—	—	5 月 12 日 (月)	37-10 24p	編
論文誌特集号 「次世代ヒューマンインタフェース・インタラクション」	—	—	6 月 30 日 (月)	38-1 21p	編

【支 部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
東海支部 講演会	豊橋技科大	平成 9 年 3 月 7 日 (水)	—	38-2 43p	海
北陸支部 見学会	北陸先端大	3 月 10 日 (月)	3 月 3 日 (月)	38-2 44p	陸
★東海支部 講習会「3D 共有環境の構築—運用 の実際、可能性」	豊橋技科大	3 月 17 日 (金)	定員になり次第	38-2 43p	海
関西支部 平成 8 年度第 2 回ソフトウェア研 究会	関西情報センター	3 月 19 日 (水)	—	38-2 44p	西

注 1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
注 2) 研究会の発表申込締切は開催日の 90 日前です。年間予定表および研究会発表申込書は 2, 4, 8 月号に掲載されています。
注 3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

平成 9 年度役員選挙について

本会定款第 20 条にもとづき、来る 5 月 20 日（火）開催の第 39 回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成 9 年度の役員選挙は、2 月初旬に別途送付しました投票用紙（往復はがき）により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考にあつたために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿をご参照のうえ投票してください。ただし、これらの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

- 1. 別送の投票用紙（返信はがき）の選定欄に○印をおつけください。
- 2. 会長、副会長、監事は 1 名の単記、理事は教育分野では 2 名以内、製造分野では 3 名以内、利用他分野では 3 名以内の連記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご留意ください。
- 3. 改選定数は会長 1 名、副会長 1 名、監事 1 名、理事 8 名です。
- 4. 投票の締切は平成 9 年 3 月 3 日（月）の必着といたします。
- 5. 投票用紙（はがき）は料金受取人払いですから、切手を貼付する必要はありません。
- 6. 投票用紙記載の候補者は 50 音順です。
- 7. 1 月 17 日（金）現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

平成 9 年度役員改選候補者名簿

（氏名は 50 音順）

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
会 長	戸田 巖 (TODA,Iwao) (東大昭 31 卒)	富士通（株）常務取締役ネットワーク開発本部長	1958 年東大電気工学科修士課程終了。同年電電公社電気通信研究所入所。DIPS 電子計算機の開発等に従事。1988 年 NTT 常務取締役研究開発技術本部長。1992 年富士通常務取締役ネットワーク開発本部長。1981 年本学会理事、1989 年同副会長。1987 年人工知能学会副会長。現在、学会会議会員、IEEE 東京支部副支部長、日本応用数理学会副会長。
	[抱負] ネットワーク時代を迎えて情報処理技術者の社会的重要性がますます増大している。情報処理技術者はネットワークの利用・構築、コンテンツの作成・利用等について指導的発言を期待されている。 情報処理学会は、常に世界の最新の技術情報ならびに技術と社会の関連についての見識を会員に届けること、会員の創出した独創的学術情報を世界に発信すること、ネットワーク上に氾濫する学術情報に適切な評価を与えること等の役割を果たすべきと考える。このためには学会のネットワーク化、グローバル化を推進し学会の世界的地位の向上を図ることが必要である。 これらの課題に挑戦する情報処理学会とするため微力を尽くしたい。		
副会長	稲垣 康善 (INAGAKI, Yasuyoshi) (名大昭 37 卒)	名古屋大学工学部教授	昭 37 年 3 月名古屋大学工学部電子工学科卒。昭 39 同大学院（修）、昭 42 年同大学院（博）修了。工博。名大助手、助教授、三重大教授を経て、昭 63 年名大教授。現在の専門分野：オートマトン・言語理論、プログラムの論理、知識と推論、自然言語処理など、情報処理の基礎理論。
	[抱負] 21 世紀に向けて情報科学・技術は、コンピューティング、インフォメーション・ベース、コミュニケーションが統合され、社会のあらゆる分野でその重要性が益々高まっています。 本学会は、会員数約 3 万を擁する我が国で最大の情報科学・技術の学会であり、この分野の学問・技術・産業の発展のために中心的役割をはたし社会と文化の発展に貢献することは本学会の責務であると考えます。そのために学会活動の活性化の推進、国際的スタンダードに基づく研究活動の向上、常なる情報分野の最新のビジョンの提示、情報ネットワークの時代に相応しい情報発信の機能の向上はさしあたっての重要課題であると考えます。		

（次ページに副会長続く）

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
副会長	堀越 彌 (HORIKOSHI, Hisashi) (東大昭 37 卒)	(株) 日立製作所情報事業本部技師長	昭 39 年東京大学工学部応用物理学科修士卒, 日立製作所入社, 平元年同社中央研究所所長, 平 4 年同社コンピュータ事業本部製品企画本部長を経て平 7 年より現職。主に同社におけるコンピュータアーキテクチャ開発に従事。平 4 年東京大学生産技術研究所客員教授, 平 6 年日本インターネット協会理事, 超高速ネットワークコンピュータ技術研究所取締役。昭 58 年工学博士 (東京大学)。昭 60-61 年理事, 平 8 年より分散システム運用技術研究会幹事。
	[抱負] 情報処理の世界は今革新的変化の渦中にある。第一の方向は PC に代表される利用者の飛躍的拡大。第二はネットワークを通じた全地球的展開, 第三にはハードウェア, ソフトウェアの進歩が可能にしつつある情報処理の日常的道具への発展にある。まさに 21 世紀は情報処理が人類文明の中心的役割を担う世紀になりつつある。しかし, 日本がかならずしもこの進歩の先頭集団にあるとはいえない。また, 我々の担う技術も, 多くの分野で世界に先駆けている状況ではない。 今程の急速な質的变化は我々が初めて経験する状況であり, 情報処理学会はまさにこれら新しい展開への先導役を担うべきと考える。積極, かつ迅速に情報処理学会の新分野活動強化に取り組みたい。		
監 事	土居 範久 (DOI, Norihisa) (慶大昭 39 卒)	慶應義塾大学理工学部教授	昭和 44 年慶應義塾大学大学院博士課程修了。工学博士。情報処理学会理事, 日本ソフトウェア科学会理事, 人工知能学会理事, 情報処理学会論文誌編集委員長等を歴任。現在, 日本学術会議会員, 日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長。
	林 弘 (HAYASHI, Hiromu) (東大昭 42 卒)	(株) 富士通研究所取締役マルチメディアシステム研究所所長	昭和 42 年東大工学部電気卒, 同年富士通研究所に入所。以来, ミリ波通信, コンピュータシステム, 人工知能, 並列処理の研究に従事。平成 8 年 6 月 (株) 富士通研究所取締役, マルチメディアシステム研究所所長。平成 4 年-5 年本学会の財務担当理事。
[抱負] 21 世紀に向けて情報技術分野の進歩が著しい。情報処理学会に対する期待も大きい, 昨今は厳しい経済情勢を反映して, 会員数の増加はあまり期待出来ない。このような状況において学会を如何に健全に運営していくかは大きな課題である。学会の収入が減少するなかで, 学会の活性化を実現しなければいけないという非常に困難な問題の解決に迫られている。しかし, 学会を取り巻く情勢は非常に明るい。産業界は長期的に発展を期待され, 学会もインターネット/イントラネットを始めとした新しい利用技術の開発を期待されている。学会としては, 従来の活動だけでなく新しい分野を念頭に置いた新しい組織への変革を図り, 長期的な発展を目指していけば, 世の中各方面の期待に答えられると考える。			

役職名		候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
理 事 分 野	教 育 分 野	大岩 元 (OHIWA,Hajime) (東大昭 40 卒)	慶應義塾大学環境情報 学部教授	昭 46 年東大大学院博士課程修了 (理博)。同年東大理学部助 手, 昭 53 年豊橋技術科学大学情報工学系講師, 助教授を経て 昭 60 年同教授, 平 4 年より現職。この間, ケンブリッジ大学 キャベンディッシュ研究所訪問研究員, コーネル大学応用物 理学科客員準教授を経験する。荷電粒子光学系の CAD, キー ボードによる日本語直接入力, 発想 (KJ) 法支援, 景観設計 の CAD, 一般人からプロフェッショナルに至るコンピュータ 教育の研究に従事してきた。
		[抱負] 情報化社会の到来にともなって, 情報処理学会の役割が大きく期待されるところである。しかし実際 には世界の学界の中でリーダーシップを発揮するまでには至っていない。産業界も, 組み込みソフトウェアや, 大規模システムには見るべきものがあるものの, パソコン分野では英語につよいアジア諸国に追い抜かれる可能 性すら出てきた。 欧米とは違う文化の中でコンピュータを使うことにかけては, 日本は先進国である。今後は, 日本の社会が必要 としているコンピュータ技術の研究をいっそう活性化しつつ, その質を高めることが必要であろう。発展が著 しいアジア諸国とともに, この分野の研究を押し進めていきたい。 もう一つの問題は初等・中等教育における情報教育である。21 世紀はコンピュータ・リテラシーが読み書き そろばんにとって代るものと考えられる。日本の教育界は, コンピュータを利用した教育には熱心であるが, コ ンピュータ自体を教えることについては, ほとんど考えていない。コンピュータ文盲の社会にならないように, 情報処理学会がイニシアティブをとって行くことを推進して行きたい。		
		水野 忠則 (MIZUNO,Tadanori) (名工大昭 43 卒)	静岡大学情報学部教授	昭 43 年 3 月名工大経営工学科卒, 同年三菱電機 (株) 入社。平 成 5 年静岡大学教授。工博。分散処理, プロトコル工学等の研 究開発に従事。現当学会東海支部評議員, 研究 G 主査。元学会 誌編集委員, 情報規格調査会委員。
		[抱負] パソコン, インターネット, WWW に始まるコンピュータ・コミュニケーションの急激な発展及びそ の大衆化により, 情報処理に関係する人口が急増しています。従来, 本学会は, コンピュータメカ, 特にソフ トウェアを業とする人で支えられてきました。しかしながら, 昨今では単にコンピュータ産業界にとどまらず, ほとんどの国民が情報処理に何らかの関わり合いを有していると思われます。私と致しましては, 本学会を広義 の情報処理関係者にとって有意義であり, また参加しやすく, かつ活力のある学会に育てていきたいと思ってい ます。また, 本学会が主に関係する情報学の分野は, 理学, 医学といった分野に比較した場合, いまだその基盤 が十分に確立していないのが現状です。このため, 学問としての情報学を確立するとともに, その技術をコンピ ュータ産業界にとどまらず, コンピュータ関連の幅広い方々にも有効なものとしていきたいと考えています。		
		宮原 秀夫 (MIYAHARA,Hideo) (阪大昭 42 卒)	大阪大学大学院基礎工 学研究科教授	昭 47 年大阪大学大学院博士修了 (工博), 京都大学工学部助 手, 大阪大学基礎工学部助教授, 昭 62 年大阪大学基礎工学部 教授, 平成 7 年大阪大学大型計算機センター長 (兼任) 現在 に至る。昭 58 年-59 年米国 IBM トーマスワトソン研究所客 員研究員, 高速ネットワーク, マルチメディアに関する研究 に従事, 平成 2 年電子情報通信学会論文賞, 平成 8 年電子情 報通信学会評議員, IEEE / ACM ネットワーキング編集委員。
		[抱負] マルチメディア, インターネットなどで代表されるコンピュータおよび通信分野の技術は, 21 世紀に おいてもわれわれの人間および社会生活を支えるものとしてますますその重要性が指摘される。このような状況 下で, 我が国においてこの分野の中核である本学会が果たすべき役割はきわめて大きいものが期待されている。 それゆえ本学会は, この分野の研究技術開発, それら技術の社会化, さらに若手研究者の育成などを積極的に 支援しうる機能が必要である。つまり, 世界から高く評価されるような学会にし, 会員が本学会員たることを誇 りに感じ, より積極的に学会活動に参加意欲が湧くようにしていくことが大切である。このような観点から, 特 に学会の国際化, 若手研究者の育成という立場に立って微力ながらお役に立ちたいと思う。		

役職名		候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
理事	教育分野	吉澤 康文 (YOSHIKAWA, Yasufumi) (東工大昭 42 卒)	東京農工大学工学部教授	昭和 42 年東工大卒。同年日立中央研究所入所。TSS の研究開発に従事。昭 48 年システム開発研究所勤務。大形計算機用 OS の性能向上、記憶管理の研究開発に従事。主管研究員を経て平成 7 年より現職。昭和 47 年本学会論文賞。
		[抱負] 日米摩擦にソフトウェアの項目はありません。日本の情報産業は安心できる状況でしょうか。特に本学会が中心としているソフトウェアは世界に通用する産業となっているのでしょうか。多分、多くの方々は、日本のコンピュータ産業の危機を認識されていると思います。私は、約 29 年企業にてソフトの研究開発に従事してきましたが、年々危機感が高まるばかりです。いくつか理由があります。オリジナリティを尊重する風土に欠けているとか産学の協力体制が弱い、などです。学会はリーダーシップをもってこれらの問題を解決する使命があると思います。私は、本学会の研究会幹事・主査、論文誌委員、CS 領域委員などをやらせていただきましたが、学会が近年益々「産」の場から離れる傾向にあると感じております。学会を支える多くの「産」の方々が学会で活躍できない仕組みを改善する必要があります。本学会が「産」と「学」の良い出会いの場になり、産業界の発展につながるよう努力します。		
理事	製造分野	片岡 雅憲 (KATAOKA, Masanori) (東大昭 41 卒)	(株) 日立製作所システム開発研究所所長	昭 43 年 3 月東京大学工学部修士課程卒。同年 (株) 日立製作所入社。大型オペレーティングシステム、CSS ソフトウェア、ソフトウェア生産技術等の研究開発に従事。平 4 年ソフトウェア開発本部副本部長。平 7 年より現職。現在に至る。
		[抱負] 社会インフラのネットワーク化とグローバル化が急速に進展する中で、我が国が情報技術において世界をリードしていくためには、その中核としての本学会の役割が極めて重要であります。来たるべきネットワーク化社会の姿を大学・研究機関・企業の英知を集めて思い描き、重点化すべき研究開発領域を明らかにすることが大切です。EC(Electronic Commerce)をはじめとするネットワークベースの新しいサービスのためのシステム技術や、Dependable (頼りがいのある) なネットワークインフラの構築のための技術が望まれます。また、経済面においても技術面においてもグローバル化が必然であり、世界の中での我が国の情報技術が果たすべき役割を明確にしていける必要があります。特に次代を担う若い研究者や技術者に世界的視野を持って頂くための仕組みや場の提供が大切です。本学会がこれらの期待される機能を果たすべく精一杯に尽力する所存です。		
理事	製造分野	坂井 邦夫 (SAKAI, Kunio) (東大昭 41 卒)	(株) 東芝 Advanced-I 事業推進企画室技監	昭 43 年 3 月東京大学工学部修士課程卒。同年 (株) 東芝入社。総合研究所、コンピュータ・通信ネットワーク事業統括部に於てパターン認識、ヒューマンインタフェース等の研究開発・事業化に従事。現在、情報・通信・映像融合分野での新規事業推進企画に携わる。昭 63 年市村賞貢献賞、平 1 年電子情報通信学会業績賞受賞。現在に至る。工学博士。
		[抱負] デジタル技術の進歩によるネットワーク&マルチメディアを技術的要因として、またボーダレスかつグローバルなエコノミーへの潮流を社会的背景として、いま、さまざまな分野で世の中が急速に変わりつつある。ライフスタイルやワークスタイル、さらには文化そのものの変革も予想されている。技術進歩による恩恵の一方で、情報格差や新たなセキュリティ上の脅威など、陰の部分の問題解決も急がれている。一方、わが国の技術、とりわけソフトウェア競争力の強化は焦眉の急である。創造力溢れる若い人材を育成する場を提供し、産業界とのパイプを太め、国際協調という枠組みの中での競争力を高め、かつこれからの情報化社会に必要な倫理を社会に提示・普及することに貢献する本会の役割は、今後ますます重要となる。このような観点から、本会をさらに価値ある魅力的な存在、国内外に持続的な情報発信をする組織体とするための諸活動を促進する触媒としての任を果たしてゆきたい。		

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成9年1月現在)	略歴・専門分野等
製造分野	阪田 史郎 (SAKATA,Shiro) (早大昭47卒)	日本電気(株)C&C研究所所長代理	昭49年3月早稲田大学理工学部修士課程卒。同年日本電気(株)入社。C&C研究所において、コンピュータ・ネットワーク・アーキテクチャ、分散処理システム、マルチメディア通信方式・プロトコル、グループウェア、VODシステムなどの研究開発に従事。平8年より現職。著書「マルチメディアとネットワークによるグループウェアの実現技術」(SRC)ほか。工学博士。
	[抱負] 21世紀には情報革命が進展し、マルチメディア、ネットワーク、モバイルコンピューティングなどに代表される情報技術がビジネス、家庭を問わず広く深く人々の社会生活に浸透していくことが予想されます。人間の生活・文化をも変革しうる可能性をもつ情報技術においては、国際的な競争が益々激化し、技術開発サイクルも大幅に短縮されております。このような時代を迎え、情報技術の中核を担う情報処理学会の果たす責任と役割は、極めて大きなものになると考えられます。国際レベルでの一流技術や新しいトレンドを創出するには、世界のトップレベルの研究者との密な交流を通じた研究者・技術者の育成、技術開発スピードに即応できる活力ある研究活動の場を提供することが重要と考えます。情報処理学会が世界から高く評価され、会員の方々からもより魅力あるものとするべく、インターネットをはじめとする情報インフラを駆使して、世界への情報発信、自由闊達な情報交流を実現するよう努力する所存です。		
利用他分野	伊藤 昭 (ITO,Akira) (京大昭47卒)	通信総合研究所関西支所研究調整官・知識処理研究室長	1979年京都大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)。同年郵政省通信総合研究所入所。現在、同所関西支所知識処理研究室長・研究調整官。知識処理・対話システムの研究に従事。1994年度人知全大優秀論文賞。
	[抱負] 現在ほど、情報技術が社会から期待されている時代はない。必要な情報が、何時でも、何処からでも、誰でも入手できる、地域、階層間の情報格差を解消するネットワーク。国民誰もが情報発信できる計算機環境。しかしながら、この中で我々は、何を社会に提案をしてこれたのだろうか。我々自身が、急速な時代の流れ・時代の要求についていけず、自分達の作った技術の成果に驚いているばかりではなかったか。我々情報技術者の責務は、社会が熱い心で待ち望み、また我々自身がその実現に心を弾ませるような「夢」を提案することである。そのためには、学会が中心となり、社会科学、理学、工学を含む幅広い学際的な協力体制のもと、これまでの枠を超えた新しい情報科学・技術の分野を開拓していく必要がある。また、そのような努力の中でこそ、若い研究者がより一層魅力を感じ、創造性を発揮できる仕事の間が作り出せるのではないかと考える。		
	江原 暉将 (EHARA,Terumasa) (早大昭42卒)	日本放送協会放送技術研究所先端制作技術研究部主任研究員	昭42年早稲田大学理工学部卒。NHK入局。番組制作の現場を経て、放送技術研究所に勤務。自然言語処理、統合デジタル放送などの研究に従事。その間ATR自動翻訳電話研究所に出向。会誌元編集委員、論文誌査読委員。
	[抱負] 情報処理技術が職場から家庭に向かおうとしている。放送と情報処理の融合である。このような流れの中において、本学会の活動を発展させるために、特に以下の3点に力を入れたい。(1)著作権問題など、情報内容そのもの(コンテンツ)に関係した活動を増やす。情報処理技術の利用者である放送事業者の視点を学会運営に生かす。(2)学会内での情報流通を電子化によって改革する。「さすが情報処理学会」と言わせるような情報提供のしくみを作り上げる。(3)日本文化に根ざした情報処理技術に光を当て、これを学会活動に取り入れる。その結果、日本としての独自性のある情報処理技術の発展に寄与する。		

役職名	候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
利用 他 事 分 野	劔重 壽和 (KENJU,Toshikazu) (東北大昭 45 卒)	鉄道情報システム (株) 通信システム事業部長	昭和 45 年東北大学工学部電気工学科卒同年国鉄入社。一貫して鉄道における各種情報システムの開発、運営業務に従事、特にみどりの窓口で知られるマルスシステムやコムトラックシステムに指導力を発揮した。
	[抱負] 実務家の立場から情報処理学会の活動を眺めると、急激に情報技術が進歩して適用領域が拡大しているにもかかわらず研究分野と実務分野の協調活動が少ないように思われる。社会体制や経済システムの大変革期にあって、個々の部分的な問題解決だけでは全体の解には至らないような複雑な問題を解くためには、研究分野だけの提携協調だけでは不十分であり、実務分野からも積極的な参加が不可欠と考える。 そのために、私は現在すでに企画されている実務家に対する発表や教育活動の場をさらに進展させ、実務家から様々な問題を提起することができ、その解決に向けて研究分野とも協調できる場の実現に努力したいと考えている。		
	鈴木 健二 (SUZUKI,Kenji) (早大昭 44 卒)	国際電信電話 (株) 研究所研究企画グループ リーダー	早稲田大学にて、磁気記録方式の研究に従事。昭 51 年 KDD 入社以降、研究所にて、パケット交換方式、OSI(開放型システム間相互接続)、高速・分散処理の研究開発に従事。また、研究所次長、研究企画 GL 等を担務。元学会誌編集委員、元 DPS 研究会幹事。
	[抱負] ここ数年、国際会議の実行委員長や座長などを経験するなかで、情報処理学会やその構成員が、国の内外で重要な機能を発揮できるよう進展してきている現状を、非常に頼もしく思っています。今後とも、この情報処理分野で、構成員が益々の研究成果をあげ、学会が世界的な地位を確立するために、尽力していきたいと思っています。具体的には、 (1) 若手研究者の研究が論文投稿に結びつくよう、積極的な支援を行っていく。 (2) 研究会や学会全国大会の運営がとするとマンネリ化している現状を見直し、論文発表者と出席者がその論文に対して積極的な討論を進められるよう、構造的な改革に向けて努力する。 (3) 研究者の国際交流を進め、IEEE や IFIP などとの交流を進めるとともに、とりわけ、アジア地域の学会ならびに研究者との交流を深める。		
	中島 秀之 (NAKASHIMA,Hideyuki) (東大昭 52 卒)	電子技術総合研究所協調アーキテクチャ計画 室長、知能システム部 室長	1983 年、東京大学大学院情報工学専門課程修了 (工学博士)。知識表現、推論協調アーキテクチャなどを研究。 現在、電子技術総合研究所協調アーキテクチャ計画室長ならびに知能システム部通信知能研究室長。情報処理学会、ソフトウェア科学会、認知科学会、人工知能学会各会員。
	[抱負] 学会の使命の第一義は何と言っても研究水準の高揚であると考えます。もちろん、そのためには研究者予備群である学生の育成や、研究成果の普及と言ったことが含まれます。しかしながら、それらを重視する余り本来の研究者の研究時間の多くが学会運営に割かれるとしたら本末転倒と言えましょう。研究者による研究者 (予備群を含む) のための学会運営。これを目指したいと思います。		

役職名		候補者名 (ローマ字) (出身校学部卒年)	勤務先および役職名 (平成 9 年 1 月現在)	略歴・専門分野等
利用 他 事 分 野		東田 正信 (HIGASHIDA,Masanobu) (東大昭 47 卒)	日本電信電話(株)情報通信研究所研究企画部部長	昭 50 年東京大学工学部修士課程修了。同年日本電信電話公社(現 NTT)入社。大型計算機ハード方式、知識処理、自然言語処理、コンピュータプラットフォーム等の研究・開発に従事。この間、昭 55 年米国オハイオ州立大学客員研究員。平 8 年より情報通信研究所研究企画部長。
		[抱負] 高度情報化社会の実現が期待される 21 世紀の幕開けもいよいよ秒読みの段階です。最近のインターネットの急速な普及、マルチメディア関連技術の開発によって、社会構造、日常生活、経済活動などに変化の兆しが見え出し、新時代に向け助走が始まりました。このような時代において、中核となる斬新なアイデアを生み出し、研究開発を推進し、社会への貢献・普及を促進していくのが本学会の重要な役目だと考えています。また研究レベルから商用システム開発にわたる急速な国際化に備える必要もあります。情報処理技術の世界では 2-3 年もするとそれまで萌芽さえ見られなかった新技術が台頭し、逆に一世を風靡した技術が急速に陳腐化してしまう事例が少なくありません。このように変化の激しい情報処理技術、マルチメディア技術に迅速に即応できる学会の体制作り、会員の皆さんに親しんで頂ける会誌の編集など、魅力溢れる学会にするため微力ながら努力していきたくと考えています。		

参考]

平成 9 年度留任役員名簿

役員名	氏 名	勤 務 先
副会長	高 橋 延 匡	東京農工大
監 事	千 葉 常 世	日 立
理 事	片 岡 信 弘	三 菱
理 事	上 林 彌 彦	京 大
理 事	白 鳥 則 郎	東 北 大
理 事	杉 本 和 敏	日本 IBM
理 事	杉 山 公 造	富士通研
理 事	諏 訪 基	電 総 研
理 事	藤 林 信 也	NEC 情報システムズ
理 事	牧之内 顕 文	九 大
理 事	村 上 憲 也	NTT データ

退任役員名簿

役員名	氏 名	勤 務 先
会 長	野 口 正 一	日 大
副会長	鶴 保 征 城	NTT データ
監 事	牛 島 和 夫	九 大
理 事	高 橋 栄	日 立
理 事	田 中 譲	北 大
理 事	塚 本 享 治	電 総 研
理 事	槻 木 公 一	新潟国際情報大
理 事	富 田 眞 治	京 大
理 事	船 津 剛 男	東 芝
理 事	松 田 晃 一	N T T
理 事	真名垣 昌 夫	N E C

研究発表会開催通知

(平成 9 年 3 月 6 日～3 月 28 日)

◆第 65 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数：13 件)

(主査：野寺 隆，幹事：佐藤三久，寒川 光，朴 泰祐)

第 4 回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する

北海道ワークショップ (HOKKE-97)

ー計算機アーキテクチャ研究会 (後記参照) と連続開催ー

日 時 平成 9 年 3 月 6 日 (木) 9 : 00 ~ 17 : 30

会 場 札幌ソフトウェア専門学校

[札幌市中央区北 5 条西 13 丁目。JR : 札幌下車，駅前五番館 SEIBU デパート南側より市営バス (51, 52, 58 番) : 北 5 条西 13 丁目下車，徒歩 1 分。または地下鉄 (東西線) : 西 11 丁目下車，徒歩 13 分。Tel(011)231-7085]

議 題

[9 : 00 ~ 10 : 00]

(1) 招待講演：Remote Computing Systems

Peter Arbenz (ETH, Zurich)

[10 : 00 ~ 12 : 00] ●広域分散計算

(2) マルチクライアントによるネットワーク数値情報システム Ninf の性能

竹房あつ子 (お茶の水女子大)，小川宏高 (東大)，松岡 聡 (東工大)

中田秀基 (電総研)，佐藤三久 (RWCP)，関口智嗣 (電総研)，長嶋雲兵 (お茶の水女子大)

(3) Ninf による広域分散並列計算

中田秀基 (電総研)，高木浩光 (名工大)，松岡 聡 (東工大)

長嶋雲兵 (お茶の水女子大)，佐藤三久 (RWCP)，関口智嗣 (電総研)

(4) 衛星通信向き仮想サーバ方式における先取り知識の自動生成法

関本克理，藤原祥隆，岡田信一郎 (北見工大)

(5) ATM ネットワーク並列シミュレータの構築

守屋充雄，米通 敦，高井峰生，成田誠之助 (早大)

[13 : 15 ~ 15 : 15] ●アルゴリズムと高速化

(6) FFT による高精度数の乗算

平山 弘 (神奈川工大)

(7) ブロック三重対角連立一次方程式の並列解法

成富 敬 (山口大)，阿曾弘具 (東北大)

(8) 並列処理による重力多体問題の解法的高速化

野中恵三，平田博章，新実治男，柴山 潔 (京都工繊大)

(9) 非構造格子を対象としたボリウムレンダリング法の並列化

西松 研，瀬戸麻由子，河野洋一，福盛秀雄，村岡洋一 (早大)

[15 : 30 ~ 17 : 30] ●スケラブルシステムと性能評価

(10) WS クラスタにおけるデータベース並列検索の評価分析

相場雄一，青木久幸 (NEC)

(11) MPC++ のワークステーションクラスタ実装の性能評価

二上敦行 (東大)，松岡 聡 (東工大)，石川 裕，佐藤三久 (RWCP)

(12) スケラブル・レイテンシ・トレラント・アーキテクチャ

清水尚彦 (東海大)

(13) Collective 通信の性能に基づくデータ並列プログラムの性能予測

田中良夫，久保田和人，佐藤三久 (RWCP)，関口智嗣 (電総研)

◆第 115 回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数：12 件)

(主査：中島 浩，幹事：木村康則，関口智嗣，宮田裕行)

第 4 回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する

北海道ワークショップ (HOKKE-97)

ーハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (前記参照) と連続開催ー

日 時 平成 9 年 3 月 7 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00

会 場 札幌ソフトウェア専門学校 (所在地は前記参照)

議 題

[9 : 30 ~ 11 : 30] ●高性能計算機

(1) VPP300/500 における BLAS のベクトル化について

傳田紀代美，山口あづさ (理研)，竹重和明 (富士通)

(2) 並列計算機における二次記憶を用いた次元 FFT の実現と評価

高橋大介，金田康正 (東大)

(3) 分散メモリ型並列計算機によるブロック化 Householder 法の性能評価

片桐孝洋，金田康正 (東大)

- (4) 超並列計算機 CP-PACS の基本性能評価 板倉憲一, 安部井嘉人, 松原正純, 朴 泰祐 (筑波大)
中村 宏 (東大), 中澤喜三郎 (電通大)

[12 : 45 ~ 14 : 45] ●メモリアーキテクチャ

- (5) UPCHMS の特徴解析 牧 晋広 (電通大)
(6) プログラム制御キャッシュメモリの性能評価 中沢光昭, 岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)
(7) マルチスレッド型プロセッサ向きのキャッシュメモリの構成と評価

- 相原孝一, 伊藤英治, 丹 康雄, 日比野靖 (北陸先端大)
(8) Self-Cleanup Cache を採用した NCC-NUMA アーキテクチャの評価
森真一郎, 福島直人, 五島正裕, 中島 浩, 富田真治 (京大)

[15 : 00 ~ 17 : 00] ●プロセッサアーキテクチャ

- (9) プログラムマブル命令フェッチ機構の定性的評価 岡本秀輔, 曾和将容 (電通大)
(10) 複数分岐での投機的実行の有効性 児島 彰, 弘中哲夫, 高山 毅, 藤野清次 (広島市立大)
(11) WS の大規模数値演算におけるメモリ参照能力 上原哲太郎, 國枝義敏 (和歌山大)
(12) インストールメンテーションに基づく性能評価環境の高精度化
久保田和人 (RWCP), 板倉憲一 (筑波大), 佐藤三久 (RWCP), 朴 泰祐 (筑波大)

◆第 22 回 グループウェア研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 松下 温, 幹事: 星 徹, 宗森 純, 山上俊彦)

日 時 平成 9 年 3 月 6 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 45

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F. JR (山手線, 京浜東北線) : 田町 (東口) 下車, 徒歩 7 分. または地下鉄 (浅草線, 三田線) : 三田下車, 徒歩 10 分. Tel(03)5484-3535]

議 題

[9 : 30 ~ 12 : 10]

- (1) 遠隔ゼミ支援システムの 3 地点運用を考慮した改良 吉田 竜, 宗森 純, 首藤 勝 (阪大)
(2) KJ 法文章の VA 手法に基づく評価法の提案と実装 八木下和代, 宗森 純, 首藤 勝 (阪大)
(3) マルチエージェントによるプロジェクト管理システム 吉府研治, 喜田弘司, 垂水浩幸 (NEC)
(4) 個人の感性の違いを考慮した画像検索へ向けての一考察 杉山仁彦, 高田真吾, 中小路久美代 (奈良先端大)

[13 : 30 ~ 17 : 45]

- (5) 創造・進化する共有知の概念モデリングと協調作業への応用 石塚隆男 (亜細亜大)
(6) 感性指向製品の選択過程における他者の役割 庄司裕子 (川村学園女子大)
(7) 仕様作成作業における認識の不一致を検出するための基礎実験 海谷治彦 (北陸先端大)
(8) JAVA を用いた WWW ページ上での全空間的全時間的特性を統合した協同作業支援システム
池端裕子, 安達 理 (立命館大)

9) WWW 上での協調学習におけるナビゲーションインタフェースの提案

- 佐藤宏之, 堀川桂太郎, 築 栄司, 及川利直, 水野浩二 (NTT)
10) 協調学習コミュニケーション支援機能の提案 及川利直, 堀川桂太郎, 築 栄司, 佐藤宏之, 水野浩二 (NTT)

◆第 71 回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 15 件)

(主査: 竹林洋一, 幹事: 来住伸子, 浜田 洋, 山本吉伸)

日 時 平成 9 年 3 月 6 日 (木) 14 : 00 ~ 18 : 00

7 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00

会 場 東北大学 片平キャンパス

[仙台市青葉区片平 2-1-1. JR : 仙台下車, バス (9 番乗場から青葉大, 宮教大, 成田山のいずれか) : 青葉通り一番町下車. Tel(022)217-5104 (宮崎研)]

議 題 小特集: インタフェースデバイスおよび一般

3 月 6 日 (木)

[14 : 00 ~ 18 : 00] ●一般

- 1) HyperMedia 構築支援のための記述モデルと再利用支援
徳田桂一, 小野 修 (東北大), 李 蔭成 (韓国均館大), 白鳥則郎 (東北大)

- (2) 例示によるオブジェクト列の操作 藤島勇造 (NEC)
- (3) Undo/Redo 機構におけるコマンド履歴の可視化 Meng Chii, 茅 暁陽, 今宮淳美 (山梨大)
- (4) Internet Scrapbook: Creating Personalized World Wide Web Pages
Atsushi Sugiura, Yuichi Koike, Yoshiyuki Koseki (NEC)
- (5) メタファネットワークにおけるユーザの行動の表現
小笠原直人, 佐藤 究 (東北大), 布川博士 (宮教大), 白鳥則郎 (東北大)
- (6) タイムマシン—時間情報に基づく WWW サイトの検索 I/F— 小池雄一, 杉浦 淳, 古関義幸 (NEC)
- 3 月 7 日 (金)
- [9:30 ~ 11:40] ●一般
- (7) 画質多重伝送方式によるインターネット動画サーバとビューア (口頭発表のみ) 山本吉伸, 仁木和久 (電総研)
- (8) 毛筆のモデル化による毛筆文字の生成 石亀昌明, 三浦 望, 保坂暁子 (秋田大)
- (9) 水墨画調映像を生成する 3 次元 CG
高橋淳也 (岩手大), 頂 青 (明生システム), 村岡一信 (盛岡短大), 千葉則茂 (岩手大)
- [13:30 ~ 17:00] ●小特集: インタフェースデバイス
- (10) 招待講演: ペンは鍵より強いのか?—テキスト入力方法いろいろ— 増井俊之 (ソニー CSL)
- (11) 視覚障害者用 GUI 操作デバイス CAT の開発と評価 海老名毅, 猪木誠二 (郵政省)
- (12) 病弱養護学校でのインターネット利用実践と GUI 操作デバイスの改善
岩本正敏 (東北学院大), 池原満雄 (通研電気工業), 渡部智之 (西多賀養護学校), 小林 巖 (東北大)
- (13) 重度身障者における意思伝達と環境制御 坂爪新一 (東北大), 高橋晴美, 川島孝一郎 (仙台往診クリニック)
- (14) 階層メニュー選択における視線の利用 大野健彦 (NTT)
- (15) Scroll Display: 超小型情報機器のための指示装置 椎尾一郎 (日本 IBM)

◆第 113 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 岸 知二, 深澤良彰)

日 時 平成 9 年 3 月 7 日 (金) 10:00 ~ 17:05

会 場 富士通幕張ラボラトリ 3F 第 3 研修室

[千葉市美浜区中瀬 1-9-3, JR (京葉線): 海浜幕張下車, 徒歩 10 分. Tel.(043)299-3100 (富士通情報研) * 海浜幕張駅の近辺地図は, <http://www.toyo-eng.co.jp/NewHome/Messe/Useful-Info/MakuhariMap/index-j.html> をご参照ください.]

議 題

[10:00 ~ 12:20]

- (1) Martin-Lof の型理論に基づくプログラム支援システムの構築 縄田和裕, 藤田憲悦, 石川明宏, 中嶋 隆 (九工大)
- (2) 地理的制約を考慮した並行計算 安藤敏彦, 高橋 薫, 加藤 靖 (仙台電波高専)
- (3) プログラムスライシングを用いたソースコード検索 宇都宗紀, 山田宏之 (愛媛大)
- (4) ツール部品によるグループ開発支援環境構築基盤の設計 辻新太郎, 齊藤裕介, 上田賀一 (茨城大)

[13:20 ~ 17:05]

- (5) 図形表とテキスト表現を併用したプログラム実行状態の可視化 太田一郎, 井上勝行, 魚井宏高, 首藤 勝 (阪大)
- (6) オブジェクト指向言語 Bramble による視覚的開発環境の構築 上田賀一, 石川裕喜, 中野喜之 (茨城大)
- (7) オブジェクトモデル作成時の過程の分析とその支援機能の検討
上原幹正, 奥平光進, 増田英孝, 笠原 宏 (電機大)
- (8) 限界値に着目した網羅度の提案と評価 中村寿彦, 臼井和敏, 中本幸一, 門田 浩 (NEC)
- (9) ソフトウェア設計のエラー区分と人間的要因の関係についての考察 江崎和博 (山武計装), 高橋宗雄 (桐蔭学園)
- (10) 「ワークショップ・イン・松山」報告
大西 淳 (立命館大), 鯉坂恒夫 (京大), 上原三八, 蓬萊尚幸 (富士通研), 山田宏之 (愛媛大)

◆第 56 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 浅野孝夫, 幹事: 阿久津達也, 今井桂子, 半田恵一)

日 時 平成 9 年 3 月 14 日 (金) 10:30 ~ 17:00

会 場 NTT 厚木研究開発センタ (基礎研究所) 1 号館 プレゼンテーションルーム

[厚木市森の里若宮 3-1, 小田急 (小田原線): 愛甲石田下車 (新宿から急行で約 60 分), 神奈川中央交通バス (北口バス 4 番乗場・「愛 19 森の里青山行」または「愛 18 松蔭女子短大行」): 通信研究所前下車. * 詳細案内は

<http://www.brl.ntt.jp/people/manabe/info-j.html>をご覧ください.) Tel(0462)40-3678 (真鍋)]

[10 : 30 ~ 12 : 00]

- (1) コスト付為替交換問題に対するオンラインアルゴリズムの設計と解析 檀浦詠介, 櫻井幸一 (九大)
- (2) 単純多角形のサーチライトスケジューリング 服部伯洋, 中野真一, 西関隆夫 (東北大)
- (3) A Measure of Parallelization for the Lex-First Maximal Independent Set Problem

Ryuhei Uehara (Tokyo Woman's Christian Univ.)

[13 : 00 ~ 17 : 00]

- (4) Generalized Vertex-Rankings of Partial k -Trees
Md. Abul Kashem, Xiao Zhou, Takao Nishizeki (Tohoku Univ.)
- (5) パーフェクト双向グラフに対する一般化安定集合問題とその多項式時間解法 田村明久 (電通大)
- (6) 辺連結度, 点連結度を同時に最適増大させる問題 石井利昌, 永持 仁, 茨木俊秀 (京大)
- (7) 線形計画問題に対する最小比閉路消去法とネットワーク最適化問題への適用
S. Thomas McCormick (Univ. British Columbia), 塩浦昭義 (東工大)
- (8) LZ77 型データ圧縮でのハッシュを用いた最長一致文字列検索の改良 定兼邦彦 (東大)
- (9) 文脈の類似度に基づくデータ圧縮の変種の suffix tree を使った実装 定兼邦彦 (東大)
- (10) SODA'97 (ACM-SIAM Symposium on Discrete Algorithms) 報告 (予稿なし) 永持 仁 (京大)

◆第 63 回 情報システム研究会

(発表件数 : 6 件)

(主査 : 黒川恒雄, 幹事 : 阿部昭博, 魚住 董, 内木哲也)

第 7 回情報システム若手の会

今年も年度最後の研究会を「若手の会」として開催します。もちろん参加年齢には一切制限はありませんが、特に情報システムの開発・研究・教育などに携わる大学院生, 若手社員, 若手研究者の方々の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 9 年 3 月 19 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 10

会 場 東洋大学 白山校舎 2 号館 16F スカイホール (一番高いビル)

[東京都文京区白山 5-28-20. 地下鉄 : 三田線白山, または南北線本駒込下車, 徒歩 5 分。JR : 巣鴨下車, 徒歩 15 分, またはバス (一ツ橋行) : 東洋大学前下車。(* 現在工事中のため, 白山通りに面した東門のみ開門しています。)

Tel(03)3945-7224]

議 題

- 1) 基調講演 : 情報システム学教育と IS '95 神沼靖子 (帝京平成大)
- 2) デジタル図書館における情報作成支援環境 福原知宏, 宇陀則彦 (情報大)
- 3) ネットワーク型社会に即した企業情報システムのあり方に関する一考察 侯 偉青, 内木哲也 (東洋大)
- 4) 言語体験による繰り返し型オブジェクト指向グループ学習
高橋富夫 (富士通), 深沢竜一 (鐘紡), 吉原哲宏 (OSL)
- 5) Nuts 柔軟な部品間結合をサポートするコンポーネントアーキテクチャ 上田哲郎, 久野 靖 (筑波大)
- 6) ニューロを用いた新しいコミュニケーションシステムの設計 濱津 誠 (多摩大)

* 研究会終了後 (17 : 30 ~ 19 : 00), 懇親会を予定しています。発表者をはじめ参加者相互の意見交換などにぜひご利用ください。

◆第 16 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数 : 10 件)

(主査 : 安田 浩, 幹事 : 一之瀬進, 児玉 明, 村上仁己)

日 時 平成 9 年 3 月 19 日 (水) 13 : 00 ~ 18 : 20

会 場 NTT 沖縄支店

[浦添市城間 4-35-1 NTT 城間ビル。空港よりタクシー : 約 30 分。またはバス (那覇交通系統番号 24 番) : 第二城間 (約 50 分) 下車 (約 20 分間隔)。Tel(098)831-2990 (真喜志) または(098)873-2002 (我喜屋)]

議 題 テーマ : MPEG4, およびマルチメディア一般

- 1) 挨拶 安田 浩 (NTT)
- 2) DAVIC 活動状況報告
川島正久 (NTT), 高橋宣明 (HVC), 長坂 篤 (沖電気), 大宮 功, 高嶋洋一, 笠原久嗣 (NTT)
- 3) 超低ビットレート動画画像コーデックの開発
ー背景分離, 可変フレームレート, 適応量子化制御による高品質符号化方式ー 宮地悟史, 松本修一 (KDD)
- 4) インターネット映像伝送を考慮した映像符号化方式 清水 淳, 嵯峨田淳, 渡辺 裕, 小寺 博 (NTT)
- 5) 信頼度を用いた輝度勾配法による動き推定手法の検討 金子 豊, 鹿喰善明, 田中 豊 (NHK)

- (6) Web コンテンツ放送システムの検討 青木勝典, 田中 豊 (NHK)
 (7) 音声半開示システムの研究 西原祐一 (NTT)
 (8) 時間方向の特徴に着目した画像構造記述方式の検討 相馬浩之, 村井正人, 児玉 明, 富永英義 (早大)
 (9) マルチメディアプロシーディングとその応用 村井正人, 児玉 明, 笠井裕之, 富永英義 (早大)
 (10) 分散制御による移動体通信方式のチャネル割当法に関する検討 小畑和則, 富永英義 (早大)
 (11) モバイル端末を用いた実世界指向システムの提案 犬童拓也, 清末悌之 (NTT)
 *電子情報通信学会(画像工学研究会), IEEE 東京支部 (BT グループ) 協賛.

◆第 118 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 22 件)

(主査: 新田義彦, 幹事: 丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成 9 年 3 月 21 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 30

22 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 00

会 場 長崎大学 工学部 2 号館 3F 23 番講義室

[長崎市文教町 1-14. JR 長崎駅から市内電車 (赤迫行), または長崎バス (1 系統, 住吉方面行) : 長崎大学 (本部) 前下車. または長崎空港からリムジンバス (長崎市内方面行) : 昭和町下車, 徒歩 10 分. Tel(0958)47-1111 (ext.2685) (鶴丸)]

議 題

3 月 21 日 (金)

[9 : 30 ~ 11 : 30] ●知識獲得

- (1) パターンマッチと共起情報を用いた新聞記事からの固有名・役職名抽出支援 久光 徹, 丹羽芳樹 (日立)
 (2) 構造化テンプレートを用いた新聞記事からの製品情報抽出 井出裕二, 藤吉 誠, 永井秀利, 中村貞吾, 野村浩郷 (九工大)
 (3) コーパスからのアスペクト情報の獲得 大石 亨, 松本裕治 (奈良先端大)
 (4) 市販電子化辞書からの自然言語の意味抽出 小田誠雄, 西村靖司 (福岡工業短大), 小田まり子 (久留米工大), 横田将生 (福岡工大)

[13 : 00 ~ 15 : 00] ●言語モデル

- (5) クラス bigram 言語モデルの補間 森 信介 (京大)
 (6) 確率的言語モデルを用いた言語データのクラスタリング 北 研二 (徳島大)
 (7) 要件効果構造に基づく法律文統語構造解析 平松寛司, 永井秀利, 中村貞吾, 野村浩郷 (九工大)
 (8) 暗黙的提示に基づくアイロニーの解釈モデル 内海 彰 (東工大)

[15 : 30 ~ 17 : 30] ●言語とイメージ・数式

- (9) 自然言語による図形データの管理について 福山将史, 弘中大介, 横田将生 (福岡工大)
 (10) WWW 環境での手話単語の検索システムの構築方法 安達久博 (宇都宮大)
 (11) 自然言語動作概念のアニメーション表現について 倉田志津, 古河忠昭, 岡出高德, 横田将生 (福岡工大)
 (12) 数式の意味解釈とその文法及びメタ言語 趙 燕結 (久留米工大), 櫻井鉄也 (筑波大), 杉浦 洋, 鳥居達生 (名大)

3 月 22 日 (土)

[9 : 30 ~ 11 : 30] ●テキスト処理

- (13) インターネット情報探索に適したキーワード抽出 神林 隆, 清水 奨, 佐藤進也, Paul Francis (NTT)
 (14) WWW ページの分類におけるテキストの特徴分析手法 落谷 亮 (富士通研)
 (15) 3D Stroller : 三次元情報空間散策システム 津高新一郎, 安井照昌, 有田英一 (三菱電機)
 (16) 共起情報を利用した文書の自動分類 藤井洋一, 鈴木克志, 今村 誠, 高山泰博 (三菱電機)

[12 : 30 ~ 14 : 00] ●意味・談話

- (17) 取り立て助詞「ばかり」と中国語範圍副詞“淨”の意味と用法 張 建華, 中野 洋 (国立国語研究所)
 (18) オンライン連想実験システムと学習基本語彙の概念辞書化 岡本 潤, 内山清子, 石崎 俊 (慶大)
 (19) あいづちの有無の影響を知るための主観データに基づく会議の質の評価法と評価 土井晃一 (富士通研), 大森 晃 (東理大)

[14 : 30 ~ 16 : 00] ●システム

- (20) ボトムアップ/トップダウン処理を融合した手書き文字列読み取り知識処理 下村秀樹, 福島俊一, 山内俊史 (NEC)
 (21) 自然言語医療情報システムの改良について

西村靖司, 小田誠雄 (福岡工業短大), 白石正人 (福岡教育大), 横田将生 (福岡工大)

(22) 音声理解システムにおける言語理解処理のシミュレーション

小田まり子 (久留米工大), 小田誠雄 (福岡工業短大), 横田将生 (福岡工大)

* 3月21日 (金) 発表終了後, 懇親会を開催いたしますので, 奮ってご参加ください。

◆第12回 数理モデル化と問題解決研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 中森真理雄, 幹事: 白石洋一, 伊達 博)

日 時 平成9年3月24日 (月) 13:00 ~ 16:00

会 場 川崎製鉄 千葉研修所 1号館新館 大教室

[千葉市中央区宮崎 1-18-17. JR: 蘇我 (東京駅より総武線快速で約55分, または京葉線快速で約45分) 下車, 徒歩15分. Tel(043)265-6611]

議 題 特集: 数理モデル化 (地震, 気象, 心理, 医療など) および一般

(1) 電磁気学的手法による地震予知—ギリシャにおける成功に学ぶ—

長尾年恭 (東海大)

(2) 「流れにおける物理モデルインタフェース」水理解析における一考察

杉本尚子 (アドイン研究所)

(3) 建設物のリスク解析および費用便益の現状と課題

平井一人 (日本電子計算)

(4) AGORA (w3mail) Service-Access Explosion and Its Relaxation

古瀬慶博, 桑原 浩 (三菱スペースソフトウェア)

(5) 遮蔽されたエッジの視覚的補間モデル

大城正典, 塩入 諭, 矢口博久 (千葉大)

◆第104回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 松山隆司, 幹事: 喜多伸之, 久野義徳, 森島繁生)

日 時 平成9年3月27日 (木) 9:00 ~ 18:00

会 場 東京大学 生産技術研究所 本館3F 第1会議室 (3F1)

[東京都港区六本木 7-22-1. 地下鉄 (千代田線): 乃木坂下車, 徒歩3分. または地下鉄 (日比谷線): 六本木下車, 徒歩7分. Tel(03)3402-6231 (ext.2645) (柳沼良知). * 最寄り駅からの道順等の情報は <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp:80/whatsiis/map/info.map-roppongi-j.html> をご参照ください.]

議 題

[9:00 ~ 12:05]

(1) スケルトンの抽出と階層化による輪郭線図形の多重解像度解析

中尾 学, 本谷秀堅, 出口光一郎 (東大)

(2) 遺伝的アルゴリズムによる腎臓組織画像のエッジ抽出

念 文, 岡崎耕三 (福井大), 田村進一, 谷口慶治 (阪大)

(3) Shadow Boundary の移動量を用いた3次元形状復元

岡谷貴之, 出口光一郎 (東大)

(4) ニューラルネットワークを用いた物体の曲率符合抽出の一手法

村上正充, 岩堀祐之 (名工大), Robert J Woodham (UBC), 石井直宏 (名工大)

(5) オプティカルフローの再検出による高精度な形状復元

斎藤佳明, 太田直哉 (群馬大)

[13:00 ~ 18:00]

(6) 連続出力確率分布を用いたHMMによる動画像からの不特定人物の表情認識の検討

大塚尚宏, 大谷 淳 (ATR)

(7) 経路と交差点の観測による定性的な環境地図作成

越智 亮 (阪大), 李 仕剛 (広島市立大), 八木康史 (阪大), 谷内田正彦 (阪大)

(8) 全方位ルートパノラマのフーリエ変換による環境記述と経路誘導

藤村修慈 (阪大), 八木康史 (阪大), 谷内田正彦 (阪大)

(9) 分散画像処理環境 VIOSIII の開発

山本伸一 (名工大), 中田浩作 (名工大), 松尾啓志 (名工大), 岩田 彰 (名工大)

(10) 並列画像処理プログラミング支援システム PRIME

牧山 靖, 鶴田直之, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)

(11) CVCV-WG 特別報告: コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望 (XIV)

—情報統合とコンピュータビジョン—

長屋茂喜 (RWCP)

(12) 見学 (17:00 ~ 18:00)

◆第12回 プログラミング研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 石畑 清, 幹事: 上田和紀, 寺田 実, 萩谷昌己)

日 時 平成9年3月28日 (金) 10:00 ~ 17:00

会 場 NTT 武蔵野研究センタ 1-204B 会議室

[東京都武蔵野市緑町 3-9-11. JR (中央線) : 三鷹 (北口) 下車, 関東バス (1 番乗場・北裏行) : 武蔵野市役所下車, 徒歩 5 分. Tel(0422)59-4411 (会場)]

議 題

[10 : 00 ~ 11 : 30]

- (1) 手続きの完全な入出力について 大場克彦 (京都医療技術短大), 貴島寿郎 (豊橋技科大), 湯浅太一 (京大)
 (2) 証明からのプログラム抽出とタクティクからのプログラム抽出 戸田洋三 (千葉大), 萩谷昌己 (東大)

[13 : 00 ~ 17 : 00]

- (3) π 計算の fair な testing による等価性判別 峰久美香, 村上昌己 (岡山大)
 (4) Nondeterministic Linear Logic 松岡 聡 (名工大)
 (5) クライアント GUI アプリケーション向けのビジュアルプログラミング環境 今村大輔 (東芝)
 (6) 定量的なプロセス間通信を意識した並列化コンパイラ中間表現の提案 大森洋一 (奈良先端大)
 (7) 同期モデルに基づく自動並列化コンパイラ 金山二郎 (成蹊大)

◆第 6 回 デジタル・ドキュメント研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成 9 年 3 月 28 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議 題

- (1) 記事データからの分類知識獲得に関する実験シミュレーション 森本由起子, 間瀬久雄, 辻 洋 (日立)
 (2) 情報分類を用いたトレンド・アウェアネスの支援 杉崎正之, 井上孝史, 大久保雅且, 田中一男 (NTT)
 (3) 自動リンク付けの研究 泉 寛幸 (富士通研)
 (4) SGML 文書の内容検証方式の検討 今村 誠, 森口 修, 鈴木克志 (三菱電機)
 (5) 文書情報における Meta-Data の位置づけ 大矢一志, 土屋 俊 (千葉大)

~~~~~

## ◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム } 合同研究会 ◆マルチメディア通信と分散処理

前号 (1 月号) 掲載の標記第 74 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会・第 81 回マルチメディア通信と分散処理研究会 (2 研究会による合同開催) 会告に以下の 1 件の発表を追加いたします。

- ・ 2 月 28 日 (金) プログラムの最後に追加 (17 : 50 まで延長)

タイトルプロセスのグループ化によるスケジューリングとファイルのアクセス制御方式 藤枝隆行 (筑波大)

~~~~~

*** 研究会 論文募集 ***

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50 字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel., Fax., e-mail) を明記の上, 各研究会照会先まで e-mail または Fax. で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534) に開催日の 3 ヶ月前までにお申し込みください。

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

日 程 平成 9 年 5 月 9 日 (金)

会 場 筑波大学 計算物理学センタ

発表申込締切 平成 9 年 3 月 3 日 (月) *できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 e-mai:hpc-kanji@etl.go.jp

◆データベースシステム研究会

日 程 平成 9 年 5 月 14 日 (水)

会 場 NTT 新宿 (予定)

議 題 特集: 文書データベースとハイパーメディア

発表申込締切 平成 9 年 3 月 3 日 (月)

▶数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成9年5月15日(木)

会 場 東京農工大学

発表申込締切 平成9年3月3日(月)

会 先 白石洋一(群馬大) e-mail:siraisi@cs.gunma-u.ac.jp Tel(0277)30-1854 Fax(0277)30-1801

※アルゴリズム研究会(16日)との連続開催。

▶情報学基礎研究会

日 程 平成9年5月15日(木)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

題 題 特集:マルチメディア/図書館/電子図書館

発表申込締切 平成9年3月3日(月)

会 先 大山敬三(学術情報センター) e-mail:oyama@rd.nacsis.ac.jp Tel(03)3942-6950 Fax(03)5395-7064

▶コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

日 程 平成9年5月15日(木)

会 場 静岡大学

発表申込締切 平成9年2月25日(火)

会 先 喜多伸之(電総研) e-mail:nkita@etl.go.jp Tel(0298)58-5986 Fax(0298)58-5971

※申込みには返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

▶ヒューマンインタフェース研究会

日 程 平成9年5月16日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

題 題 小特集:ハイパーメディアインタフェース

発表申込締切 平成9年2月28日(金)

会 先 中内 靖(防衛大) e-mail:nakauchi@cc.nda.ac.jp Tel(0468)41-3810(ext.2536) Fax(0468)44-5900

▶アルゴリズム研究会

日 程 平成9年5月16日(金)

会 場 東京農工大学 工学部

発表申込締切 平成9年2月24日(月)

会 先 阿久津達也(東大) e-mail:takutsu@ims.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5449-5617 Fax(03)5449-5434

※数理モデル化と問題解決研究会(15日)との連続開催。

▶プログラミング研究会

日 程 平成9年5月21日(水)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

題 題 プログラミングに関する一般講演をひろく募集します。

発表申込締切 平成9年3月7日(金)

会 先 久野 靖(筑波大) e-mail:kuno@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp Tel(03)3942-6869 Fax(03)3942-6829

▶ソフトウェア工学研究会

日 程 平成9年5月23日(金)

会 場 富士通川崎(JR南武線武蔵中原)

発表申込締切 平成9年3月3日(月)*できるだけe-mailをお願いします。

会 先 上原三八(富士通研) e-mail:sanya@flab.fujitsu.co.jp Tel(044)754-2675 Fax(044)754-2570

▶設計自動化研究会

日 程 平成9年5月23日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

題 題 テーマ:レイアウトと一般

発表申込締切 平成 9 年 3 月 1 日 (土) *できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 小野寺秀俊 (京大) e-mail: onodera@kuee.kyoto-u.ac.jp Tel(075)753-5314 Fax(075)753-5343

◆人文科学とコンピュータ研究会

日 程 平成 9 年 5 月 23 日 (金)

会 場 静岡大学 (浜松市)

発表申込締切 平成 9 年 2 月 28 日 (金)

照 会 先 坂谷内 勝 (国立教育研) e-mail: saka@nier.go.jp Tel(03)5721-5093 Fax(03)3714-0986

◆デジタル・ドキュメント研究会

日 程 平成 9 年 5 月 23 日 (金)

会 場 福岡市

議 題 デジタル・ドキュメント一般

発表申込締切 平成 9 年 2 月 28 日 (金)

照 会 先 荒井真人 (日立) e-mail: arai_m@soft.hitachi.co.jp Tel(045)826-8312 Fax(045)826-7814

◆知能と複雑系研究会

平成 9 年度より人工知能研究会の名称が変わります。

小特集では環境、目標に適合すべく自己を改変する自己言及的なシステムに関して AI, 社会科学, 認知科学的意見を広く求めます。ポジションペーパーによる問題提起, 議論も歓迎いたします。

日 程 平成 9 年 5 月 26 日 (月)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) *当初の予定より変更しました。

議 題 小特集: 自己創造システム, および一般

発表申込締切 平成 9 年 2 月 28 日 (金) *できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 有馬 淳 (富士通) e-mail: arima@iias.flab.fujitsu.co.jp Tel(0559)24-7210 Fax(0559)24-6180

◆自然言語処理研究会 (NL)

◆音声言語情報処理研究会 (SLP)

日 程 平成 9 年 5 月 26 日 (月) ・ 27 日 (火) 連続開催 (一部合同)

会 場 早稲田大学 理工学部 (東京都新宿区)

議 題 テーマ: 言語モデル, 大語彙連続音声認識, および一般

発表申込締切 平成 9 年 2 月 28 日 (金) *できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 NL: 柏岡秀紀 (ATR) e-mail: kashioka@itl.atr.co.jp Tel(0774)95-1343 Fax(0774)95-1308

SLP: 小林哲則 (早大) e-mail: koba@tk.elec.waseda.ac.jp Tel(03)5286-3379 Fax(03)3205-9381

*申込みには返信しますので, 返信のない場合にはご連絡ください。

◆モバイルコンピューティング研究会 (*新設)

日 程 平成 9 年 5 月 29 日 (木) ・ 30 日 (金)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表申込締切 平成 9 年 2 月 28 日 (金)

照 会 先 吉澤康文 (東京農工大) e-mail: yoshiza@cc.tuat.ac.jp Tel(0423)88-7154 Fax(0423)85-9747

◆情報システム研究会

日 程 平成 9 年 6 月 18 日 (水)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表申込締切 平成 9 年 3 月 7 日 (金)

照 会 先 辻 秀一 (三菱電機) e-mail: htsuji@isl.melco.co.jp Tel(0467)41-2155 Fax(0467)41-2019

平成 9 年度 研究会のお知らせ

平成9年度は、下記のとおり27研究会（新設1：＊）で実施します。

<コンピュータサイエンス領域>

研究会名（略称） ○主査、幹事 研究会 WWW ホームページ	取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例
データベースシステム（DBS） ○田中克己 有川正俊、原嶋秀次、（未定）	1. DBSM 技術 2. データモデリング 3. 情報検索 4. ハイパーテキスト・ハイパーメディア 5. マルチメディアデータベース 6. データベース高度応用
ソフトウェア工学（SE） ○玉井哲雄 上原三八、岸 知二、佐伯元司 http://www.comp.ae.keio.ac.jp/lab/hijima/sigse.html	・要求定義、設計技法・保守・形式的仕様・開発管理・プログラム開発法 ・マトリクス・検査、検証・信頼性・ソフトウェア開発支援環境、CASE・標準化 ・再利用、プログラム合成・人的要因、教育・ソフトウェア開発モデル ・知能処理技術のソフトウェア工学への応用
計算機アーキテクチャ（ARC） ○中島 浩 木村康則、関口智嗣、宮田裕行	・計算機システム・アーキテクチャ全般 ・ソフトウェア・システム（OS、コンパイラ、ツール）とのインタフェース ・並列処理アーキテクチャ ・VLSI アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム（OS） ○徳田英幸 梅村恭司、柴山茂樹、福田 晃 http://avenue.tutics.tut.ac.jp/OS/CS96.html	システム性能評価、オペレーティングシステム、ネットワーク実現技術、 ネットワークプロトコル、サーバ実現技術、リアルタイムシステム、 言語処理系、ネットワークセキュリティ、モバイルコンピュータリング、 コンピュータの新機能とサポートソフトウェア
設計自動化（DA） ○吉田憲司 小山正弘、寺井正幸、若林真一	集積回路から装置システムまで一貫した設計自動化技術： 具体的には、エレクトロニクスの DA/CAD 全般、設計方法論、 論理合成・高位合成、設計検証、レイアウト、テストなどを扱う。
ハイパフォーマンス・コンピューティング（HPC） ○野寺 隆 佐藤三久、寒川 光、朴 泰祐 http://phase.etl.go.jp/sighpc/	計算科学（数値計算）／シミュレーションの理論と実際（モデル化、アルゴリズム、 品質保証）、高速・高性能アーキテクチャ・システム（超並列 WS） 利用技術／性能評価と提言、計算と計算機を結ぶ技術（可視化、言語、 データ配置、最適化、デバッグツールなど）
プログラミング（PRO） ○石畑 清 上田和紀、寺田 実、萩谷昌己 http://nicosia.is.s.u-tokyo.ac.jp/ipsj-pro/home.html	・プログラミング言語の基本概念、設計原理、実装技術 ・プログラミング方法論、プログラミング環境 ・その他、プログラミングに関する面白い話題
アルゴリズム（AL） ○浅野孝夫 阿久津達也、今井桂子、半田恵一	1. グラフ、ネットワーク等に関するアルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号、符号等の数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム 5. 分散、並列アルゴリズム、ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算複雑度理論 8. アルゴリズムの応用と実用
数理モデル化と問題解決（MPS） ○中森眞理雄 城 和貴、白石洋一、古瀬慶博 http://al.ei.tuat.ac.jp/mps/index.html	1. 数理モデル化全般と解法 2. 数理計画法 3. グラフ理論、ネットワークフロー理論 4. 逆問題 5. モデル化の教育 6. 各種モデルの応用 7. 人工生命手法

<情報環境領域>

研究会名 (略称) ○主査, 幹事 研究会 WWW ホームページ	取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例
マルチメディア通信と分散処理 (DPS) ○滝沢 誠 小花貞夫, 玉置政一, 東野輝夫 http://takilab.k.dendai.ac.jp/~tachi/dps/	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム (高速通信, 分散コンピューティング, マルチメディア情報通信, 知的通信, プロトコル, 分散協調など)
ヒューマンインタフェース (HI) ○竹林洋一 中内 靖, 浜田 洋, 山本吉伸 http://sighi.tsuda.ac.jp/	1. 計算機システムのインタフェース 2. マルチメディア/マルチモーダルインタフェース 3. コミュニケーションとインタフェース 4. 協調作業のインタフェース 5. 文書処理のインタフェース 6. 人工現実感 7. 認知情報処理 8. インタフェースデザイン技法 9. インタフェース評価法
グラフィクスと CAD (CG) ○大野義夫 青野雅樹, 小堀研一, 斉藤 剛 http://www.ipsj-gcad.on.cs.keio.ac.jp/GCAD/	CG のソフトウェア, アルゴリズム, ハードウェア, 応用, GUI, 形状モデリング, アニメーション, アート, 可視化, 仮想現実感, CAD/CAM.
情報システム (IS) ○黒川恒雄 阿部昭博, 魚住 董, 内木哲也	1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用 2. 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際 3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連
情報学基礎 (FI) ○中川 優 木本晴夫, 中谷多哉子, 三池誠司 http://www.info.waka.kindai.ac.jp/~www-nakagawa/fi-ipsj.html/	1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 検索, 流通, 管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報, 生体情報 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理, 電子図書館
情報メディア (IM) ○上林憲行 小澤英昭, 久保田晃弘, 広瀬 真 http://infomedia.dj.kit.ac.jp/	1. 情報メディアとその生態系のモデルと理論 2. 情報メディアの創作, 表現, 演出, 編集, 管理, 検索, 伝達, 理解の科学 3. 情報メディアのメタファ, 環境, システムのアーキテクチャ
オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM) ○一之瀬進 児玉 明, 小谷野浩, 松本修一	ハルパメディアと画像情報処理: 1. 画像信号処理, HDTV 信号・低ビットレート画像信号・システム 2. 高品質音声処理・音場処理 3. メディアを相互に関連付けるハルパメディア技術・システム 4. B-ISDN, マルチメディア, ハルパメディアの国際標準化 (具体的には JBIG, JPEG, MPEG, MHEG, IVS, H.261, HYTIME, SGML 等の関連分野)
グループウェア (GW) ○岡田謙一 桑名栄二, 星 徹, 宗森 純 http://www.myo.inst.keio.ac.jp/~siggw/	1. 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学) 2. グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育) 3. グループワークインフラ (仮想環境, グループ通信) 4. 分散オフィス 5. マルチユーザインタフェース 6. 仮想社会におけるインタラクション 7. 事例紹介
分散システム運用技術 (DSM) ○林 英輔 岩原正吉, 箱崎勝也, 堀越 彌 http://dsm.slab.ntt.co.jp	分散環境での柔軟かつ効率的な, ・ コンピュータおよびネットワークシステム・情報資源の構成と管理手法 ・ 運用・管理要素技術とエージェント手法 ・ 技術移転とみた運用スタッフ, 利用者教育手法
デジタル・ドキュメント (DD) ○山田尚勇 絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高	マルチメディア文書作成技術, CALS の活用, 検索と表示技術, デジタルライブラリー, ネットワーク流通技術 などのデジタルドキュメント関連の活用について
*新設 モバイルコンピューティング (MBL) ○水野忠則 寺岡文男, 森原一郎, 渡辺 尚 http://www.csl.sony.co.jp/~mbl	移動体通信計算環境, 携帯端末, セキュリティ, 移動体ネットワーク 無線ネットワーク, 分散協調プロトコル, ユービキタスコンピューティング モバイルアプリケーション, モバイル社会システム

<フロンティア領域>

研究会名（略称） ○主査、幹事 研究会 WWW ホームページ	取 り 扱 う 研 究 分 野 の 例
自然言語処理（NL） ○新田義彦 田中裕一、丹羽芳樹、久光 徹 http://tokunaga-www.cs.titech.ac.jp/SIGNAL/index.html	言語理論、言語行動、言語資料・統計、コーパス、辞書、レキシコン、文法、形態素解析、統語解析、意味解析、文脈解析、文生成、談話理解、対話、音声、言語知識表現、言語知識獲得、機械翻訳、かな漢字変換、校正支援、自然言語インタフェース、情報抽出、文書分類・検索
※知能と複雑系（ICS） ○中島秀之 有馬 淳、加藤 浩、山田誠二	知能の本質は、俯瞰は情報を不完全ながら合理的に処理をすることである、という観点にたち、人工知能、複雑系の情報処理、人工社会、人工生命などを扱う。
コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM） ○長谷川純一 喜多伸之、美濃導彦、森島繁生 http://vision.kuee.kyoto-u.ac.jp/CVIM/	コンピュータによる視覚認識：画像処理、画像理解、物体認識、3次元復元、ステレオ視、運動解析、距離解析、色彩解析、ロボットビジョン、画像処理プロセッサ コンピュータによる視覚メディア処理：画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成、立体テレビ、画像・映像データベースの検索
コンピュータと教育（CE） ○大岩 元 河合和久、河村一樹、小林 修 http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/kawai/ipsj-sigce/	1. 情報教育に関する諸問題：初等・中等教育における情報教育のあり方、大学・企業における教育・再教育・生涯教育などに対するカリキュラム 2. 教育におけるコンピュータの活用：教育現場に適合したコンピュータシステム、言語、教材開発支援ツール、それらの開発・実用経験・評価
人文科学とコンピュータ（CH） ○山田奨治 加納千恵子、北風晴司、坂谷内勝 http://syllab.nichibun.ac.jp/sigch/	人文科学分野へのコンピュータ応用をめざした 1. ハード・ソフトの開発・事例 2. 研究手法（処理技術）の開発・事例 3. 学際的研究や理論的研究
音楽情報科学（MUS） ○平賀 譲 松島俊明、村尾忠廣、菜 孝之 http://www.hamamatsu-pc.ac.jp/SIGMUS/	計算機技術と音楽双方に関連した領域： 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏、電子楽器、音楽信号処理、AI と音楽、音楽の認知・知覚・感性情報、音楽情報処理システム、音楽学や音楽芸術と計算機技術
音声言語情報処理（SLP） ○中川聖一 岡田美智男、小林哲則、岡岡信夫 http://www.mic.atr.co.jp/SLP/index.html	1. 音声言語情報処理（音声の分析・加工・合成・認識・理解、話し言葉の解析・解釈・生成） 2. 音声言語処理システム（ディクテーション、音声対話、音声翻訳） 3. 音声インタフェースと音声応用

※名称変更（旧名称：人工知能）

- ・領域制については、学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp/>）に掲載していますのでご参照ください。
- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして、「研究会準登録者制度」を設けております。詳細等については、事務局研究会担当までお問合せください。
- ・登録されていない会員は研究発表会当日、資料代をいただきます。

平成 9 年 度 研 究 発 表 会 開 催 予 定

研究会活動の充実、活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り、シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので、本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください。

<コンピュータサイエンス領域>

平成 9 年 1 月 13 日現在

研究会名(略称)	開催日	会場
データベースシステム (DBS)	5月14日(水)	NTT 新宿
	◎ 7月	北海道
	1月	関 西
ソフトウェア工学 (SE)	5月23日(金)	富士通川崎
	7月	関 西
	9月	東 京
	11月	東 京
	3月	東 京
計算機アーキテクチャ (ARC)	5月29日(木)	神戸市産業振興センター
	6月	未 定
	8月19日(火)～22日(金)	グリーンピア阿蘇 -SWoPP '97-
	◎10月28日(火)・29日(水)	宮崎シガイ (*DA と合同)
	12月11日(木)	阪 大 (*DA と合同)
	3月	札 幌 -Hokke '98- (*HPC と連続)
システムソフトウェアと オペレーティング・システム (OS)	◎ 6月	東 海
	8月19日(火)～22日(金)	グリーンピア阿蘇 SWoPP '97
	2月26日(木)・27日(金)	北 陸 (*DPS と合同)
設計自動化 (DA)	5月23日(金)	学会会議室(芝浦)
	◎10月28日(火)・29日(水)	宮崎シガイ (*ARC と合同)
	12月11日(木)	阪 大 (*ARC と合同)
	2月13日(金)	学会会議室(芝浦)
ハイパフォーマンス コンピューティング (HPC)	5月 8日(木)	筑波大
	8月19日(火)～22日(金)	グリーンピア阿蘇 -SWoPP '97-
	10月17日(金)	北陸先端大
	12月12日(金)	慶 大(三田)
	3月中旬	札 幌 -Hokke '98- (*ARC と連続)
プログラミング (PRO)	5月21日(水)	学会会議室(芝浦)
	8月19日(火)～22日(金)	グリーンピア阿蘇 -SWoPP '97-
	9月12日(金)	立命館大
	11月	会津大
	1月	東 京
	◎ 3月	未 定 ※並列
アルゴリズム (AL)	5月16日(金)	東京農工大 (*MPS と連続)
	9月19日(金)	岩手大
	11月21日(金)	新潟工科大
	1月22日(木)	奈良先端大
	3月13日(金)	東芝(浜松町)
数理モデル化と問題解決 (MPS)	5月15日(木)	東京農工大 (*AL と連続)
	7月25日(金)	群馬大
	9月19日(金)	福 岡
	11月21日(金)	東 京
	1月23日(金)	奈良先端大
	3月20日(金)	東 京

<情報環境領域>

研究会名(略称)	開催日	会場
マルチメディア通信と分散処理(DPS)	4月24日(木)・25日(金)	東北大
	6月5日(木)・6日(金)	未定
	9月12日(金)	学会会議室(芝浦)
	11月6日(木)・7日(金)	熊本
	1月29日(木)・30日(金)	東洋大(*GWと合同)
	2月26日(木)・27日(金)	北陸(*OSと合同)
ヒューマンインタフェース(HI)	5月16日(金)	学会会議室(芝浦) ※(小) ハイパーメディアインタフェース
	7月11日(金)・12日(土)	筑波山 ※(小) メディアとコミュニケーション
	9月12日(金)・13日(土)	近郊 ※マルチモーダルインタフェース
	11月14日(金)	京大 ※(小) インタフェースエージェント
	1月29日(木)・30日(金)	北大(*IMと合同)
	3月13日(金)	ユニバーシティ・オブ・ロンドン ※(小) バリアフリーインタフェース
グラフィクスとCAD(CG)	4月18日(金)	学会会議室(芝浦) ※ネットワークとCG
	8月21日(木)・22日(金)	湯の山温泉(三重) ー夏の集中研究集会ー
	10月17日(金)	山梨大 ※サイエンティフィックスシミュレーションとCG
	12月18日(木)	電機大
	2月27日(金)	学会会議室(芝浦) ※ボリュームビジュアライゼーション
情報システム(IS)	6月18日(水)	学会会議室(芝浦)
	9月16日(火)	学会会議室(芝浦)
	12月17日(水)	学会会議室(芝浦)
	3月17日(火)	東京 ー若手の会ー
情報学基礎(FI)	5月	学会会議室(芝浦) ※マルチメディア/図書館
	7月	IBM or 学会会議室(芝浦) ※データマイニング,情報識別,分類
	9月11日(木)・12日(金)	慶大(矢上) (*NLと合同 or 連続)
	11月中旬	北陸 or 関西
情報メディア(IM)	5月9日(金)	地方 ※(小) 地域情報メディア
	7月4日(金)	東京 ※(小) テクノロジーとカウンターカルチャー
	9月5日(金)	学会会議室(芝浦) ※(小) ことばとグローバリゼーション
	1月29日(木)・30日(金)	北大 ※(小) ヒューマンインタフェースと情報メディア(*HIと合同)
オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)	6月6日(金)	早大 ※MPEG2 アプリケーション
	9月5日(金)	東北 ※放送型AVサービス
	12月5日(金)	早大 ※サイバースペース
	3月6日(金)	関西 ※移動体AVサービス, MPEG4
グループウェア(GW)	5月22日(木)	学会会議室(芝浦)
	9月18日(木)	学会会議室(芝浦)
	11月13日(木)	学会会議室(芝浦)
	1月29日(木)・30日(金)	東洋大(*DPSと合同)
	3月5日(木)	学会会議室(芝浦)
分散システム運用技術(DSM)	5月16日(金)	富士通(東海)
	7月25日(金)	北大
	10月17日(金)	NTT 武蔵野
	11月21日(金)	佐賀大
デジタル・ドキュメント(DD)	5月23日(金)	九大
	◎7月18日(金)	学会会議室(芝浦)
	9月19日(金)	学会会議室(芝浦)
	◎11月28日(金)	大阪
	3月13日(金)	学会会議室(芝浦)
*新設 モバイルコンピューティング(MBL)	5月29日(木)・30日(金)	学会会議室(芝浦)
	7月24日(木)・25日(金)	慶大
	12月4日(木)・5日(金)	倉敷工大
	2月12日(木)・13日(金)	ランドマークタワー(横浜)

<フロンティア領域>

研究会名(略称)	開催日	会場	他
自然言語処理 (NL)	5月26日(月)・27日(火)	早大	(*SLPと連続, 一部合同)
	◎ 7月	名大	
	9月11日(木)・12日(金)	慶大	(*FIと連続 or 合同)
	11月	福岡大	
	1月	関東	
	3月	阪大(豊中)	
知能と複雑系 (ICS)	5月26日(月)	学会会議室(芝浦)	
	8月	名古屋	
	11月	学会会議室(芝浦)	
	1月	関西	
コンピュータビジョンと イメージメディア (CVIM)	5月15日(木)	静岡大	
	7月24日(木)・25日(金)	北大	
	9月18日(木)	東京	
	11月27日(木)	宇都宮大	
	1月22日(木)	ATR 知能映像通信研究所	
	3月19日(木)	NTT データ情報科学研究所	
コンピュータと教育 (CE)	6月20日(金)	学会会議室(芝浦)	
	9月17日(水)	学会会議室(芝浦)	
	12月19日(金)	仙台	
	3月20日(金)	学会会議室(芝浦)	
人文科学とコンピュータ (CH)	5月23日(金)	静岡大(浜松)	
	8月29日(金)	放送教育開発センター	
	11月15日(土)	国際日本文化研究センター(京都)	
	1月31日(土)	香川大	
音楽情報科学 (MUS)	◎ 5月	名古屋	
	7月20日(日)・21日(月)	京都府立ゼミナールハウス	ー夏のシンポジウムー
	10月	東京	
	12月	東京	
	◎ 2月	厚木	
音声言語情報処理 (SLP)	5月26日(月)・27日(火)	早大	(*NLと連続, 一部合同)
			※言語モデル, 大語彙連続音声認識, 一般
	7月25日(金)・26日(土)	地方	※音声対話, Spontaneous Speech の処理
	10月24日(金)	KDD	※音声対話, システム例, 一般
	◎ 12月11日(木)・12日(金)	NTT 横須賀センター	※認識, 対話, 一般
	2月6日(金)・7日(土)	地方	※音声インターフェース

・第55回全国大会(平成9年後期) H9.9.24(水)～26(金) 於: 福岡工業大学

・第56回全国大会(平成10年前期) H10.3. 於: 中央大学理工学部

注) 上記開催予定は平成9年1月13日現在のもので, 日程, 会場等は変更される場合があります。学会誌最新号会告欄にてご確認ください。

※: 特集 ※(小): 小特集 ◎: 他学会との共催

ーSWoPP'97ー: 1997年並列/分散/協調処理に関するサマー・ワークショップ

各研究会8月19日～22日のうち1日または2日にわたり並列・連続開催。

ーHokke'98ー: ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

【個人新規専用】

平成 年 月 日

平成 9 年度 研究会 登録 申込 書

フリガナ 氏 名 _____ 会員 No. _____

<コンピュータサイエンス領域>

申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)	申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)
	DBS	データベースシステム	4,830		HPC	ハイパフォーマンスコンピューティング	5,145
	SE	ソフトウェア工学	4,935		PRO	プログラミング	5,145
	ARC	計算機アーキテクチャ	5,565		AL	アルゴリズム	5,460
	OS	システムソフトウェアとオペレーティング・システム	5,250		MPS	数理モデル化と問題解決	4,410
	DA	設計自動化	5,040				

<情報環境領域>

申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)	申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)
	DPS	マルチメディア通信と分散処理	5,565		AVM	オーディオビジュアル複合情報処理	4,515
	HI	ヒューマンインタフェース	5,355		GW	グループウェア	4,725
	CG	グラフィクスとCAD	4,725		DSM	分散システム運用技術	4,620
	IS	情報システム	4,515		DD	デジタル・ドキュメント	4,935
	FI	情報学基礎	4,725		MBL	*モバイルコンピューティング	4,725
	IM	情報メディア	4,935				

<フロンティア領域>

申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)	申込	英略称	研 究 会 名	登録費(税込)
	NL	自然言語処理	5,880		CH	人文科学とコンピュータ	4,410
	ICS	※知能と複雑系	4,095		MUS	音楽情報科学	3,885
	CVIM	コンピュータビジョンとイメージメディア	5,460		SLP	音声言語情報処理	5,355
	CE	コンピュータと教育	4,410				

*：新設 ※：名称変更（旧名称：人工知能） ◎各研究会の登録費には消費税が含まれています。

登録申込み： _____ 件 合計金額： _____ 円 請求書要： _____ 部

問い合わせ先：Tel. (_____) _____ (ext. _____)

登録申込方法および注意事項

- ・ 申込者氏名、会員 No. を必ず記入のうえ、登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。
- ・ 登録申込件数、合計金額、請求書部数（必要な場合のみ）を記入してください。
- ・ 本申込書は新規登録の方のみ利用できます。（平成 8 年度に登録された方は別途お申込みください）
- ・ 登録の方には研究発表会の都度、研究報告を後日郵送します。
- ・ 研究報告送付先は学会誌と同様となります。（変更等は書面にて会員係までご連絡ください）
- ・ 登録は登録費の領収をもって正式の受付とします。
- ・ 登録費の払込みは登録手続き完了後に送付する郵便振替用紙でのご送金にご協力ください。

申込／照会先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F （社）情報処理学会 研究会係
Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp

研究会 (申込 年 月 日)

年 月 日 ()

[illegible]

Tel. (ext.)

e-mail

送付 主査・幹事 ()

年 月 日受付

「研究グループ」について

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野とより得る苗床の研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために、研究グループ制度があります。

この制度は会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます。期間は2年以内、活動は独立採算（ボランティア方式）です。設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

現在、以下の研究グループが活動をしています。（*：所属領域略称）

- 1) システム評価 * IE （主査：亀田寿夫，幹事：野瀬純郎，李 頌）
- 2) 電子化知的財産・社会基盤（平成9年度新設） * FR （主査：森 亮一，幹事：工藤育男，名和小太郎，松本恒雄）

~~~~~

## 「電子化知的財産・社会基盤研究グループ」新設について

（主査：森 亮一，幹事：工藤育男，名和小太郎，松本恒雄）

知的財産権に関する法律の整備は現在最も緊急の課題である。はじめ複製の権利の問題が DAT に関して現れた。その解決は一応はついたが、マルチメディアに関して、多数の（原）著作権者との権利交渉の問題が加わった。現在はさらに、インターネットが激しい技術進歩に支えられた、双方向かつ無差別無制限に近いアクセスの提供によって、社会に急激に浸透し、多様な明暗模様を生み出している。明については、言うまでもなくインターネットは世界的な情報流通のバックボーンになっていく。暗については、ほとんど一切の制限が存在しないことによって、著作権の侵害など多様な問題の噴出が益々程度を強めていく。このような状況に鑑み、高度情報化時代の知的財産権問題を中心に関連する諸問題を議論する場を提供する。（\*詳細は、<http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-cip/>をご参照ください。）

### 主な研究分野

知的財産権一般（勉強から意見主張まで）、特許（ソフトウェア、デジタル技術）、著作権問題（ソフトウェア、フリーソフト、データベース、ネットワーク）、倫理問題、パソコンネットワーク、インターネット（賭）、越境データ流通の問題、ネットワークサーバの国内、国外での法律的差の問題、コピープロテクション、電子図書館における著作権問題、著作権集中処理システム、著作物クリアリングシステム、カスタムテキストブック、著作物のセキュリティ、通信のセキュリティ、暗号技術、防衛技術、電子貨幣、エレクトロニックコマース、WWW、コンピュータウイルス技術とその対策および発見技術、コンピュータ不正アクセス技術とその対策および検出技術、ピア・レビュー、表現の自由、スキップジャック、プライバシー保護、通信の秘密など、上記デジタル技術革命がもたらす制度的、法的問題、およびそれらの関連技術一般を扱う。

### 提案者（50音順）

安達 淳（学情センター）、荒川一彦（野村総研）、飯塚浩司（情報処理学会）、五十嵐智（明星大）、池田 誠（会津大）、  
 石田晴久（東大）、板橋秀一（筑波大）、稲垣耕作（京大）、井上一郎（多摩大）、猪瀬 博（学情センター）、浦谷則好（NHK）、  
 上園忠弘（城西国際大）、江原暉将（NHK）、大瀧保広（茨城大）、大谷和子（日本総研）、大野幸夫（新潟大）、岡田謙一（慶大）、  
 岡本敏雄（電通大）、甲斐宗徳（成蹊大）、片岡雅憲（日立）、片岡信弘（三菱電機）、川上 桂（松下電器産業）、  
 可原正治（筑波技術短大）\*、上林憲行（富士ゼロックス）、工藤育男（ジャストシステム）、樽松 明（電通大）、後藤滋樹（早大）、  
 小林哲則（早大）、小宮一三（神奈川工科大）、今野 浩（東工大）、嵯峨山茂樹（NTT）、佐藤佳弘（NTT データ）、  
 鹿野清宏（奈良先端大）、白井克彦（早大）、白鳥則郎（東北大）、杉本重雄（情報大）、相山啓士（原田・内田・相山・堀井法律事務所）、  
 鈴木雅実（KDD）、諏訪 基（電総研）、瀬川英生（東芝）、高野雅晴（デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ）、高橋延匡（農工大）、  
 高橋義暁（沖電気）、田上和光（QUICK 総研）、竹内彰一（ソニー）、田中 譲（北大）、田畑孝一（情報大）、塚本享治（電総研）、  
 上屋 俊（千葉大）、照井武彦（歴史民俗学博物館）、戸村 哲（電総研）、苗村憲司（慶大）、長尾 真（京大）、  
 中川聖一（豊橋技科大）、中嶋正之（東工大）、中村 達（IPA）、中村 明（富士通）、中村繁一（ナムコ）、名和小太郎（関西大）、  
 野村浩郷（九工大）、則近憲佑（ソフトウェア情報センター）、箱崎勝也（電通大）、八村広三郎（立命館大）、速水 悟（電総研）、  
 平賀 譲（情報大）、広瀬啓吉（東大）、福島敏高（富士通）、松本恒雄（一橋大）、松本裕治（奈良先端大）、真名垣昌夫（NEC）、  
 三木哲也（電通大）、武藤佳恭（慶大）、森 亮一（神奈川工科大）、安田 浩（NTT）、山地克郎（富士通）、山本毅雄（情報大）、  
 黄山晶一（山形大）、吉田 進（京大）、吉田正夫（三木・吉田法律特許事務所）、吉本 啓（東北大）、米田英一（東芝）

\*：インターネット対応担当

## 平成9年度 シンポジウム等行事予定一覧

平成9年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせいたします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

(H9.1.13 現在)

| 名 称                                           | 開 催 日                   | 場 所            |
|-----------------------------------------------|-------------------------|----------------|
| ○第3回分散システム国際会議 (ISADS'97)                     | H 9. 4. 9 (水) ～11 (金)   | ドイツベルリン        |
| ●情報処理学会通常総会                                   | H 9. 5. 20 (火)          | ニューサテライトお台場芝浦  |
| ◆1997 年並列処理シンポジウム (ARC 他)                     | H 9. 5. 28 (水) ～30 (金)  | 神戸市産業振興センター    |
| ◆グラフィクスと CAD シンポジウム (CG)                      | H 9. 6. 4 (水) ～ 5 (木)   | 早稲田大学          |
| ◆DiCoMo ワークショップ (DPS, GW, MBL)                | H 9. 7. 2 (水) ～ 4 (金)   | 北海道ニセコ         |
| ◆DAVIC 関連技術システムシンポジウム (AVM)                   | H 9. 7                  | 早稲田大学          |
| ◆オブジェクト指向'97シンポジウム (SE)                       | H 9. 7. 2 (水) ～ 4 (金)   | TIME24 (臨海副都心) |
| ○第11回システム同定に関する<br>国際自動制御連盟学会議 (SYSID'97)     | H 9. 7. 8 (火) ～11 (金)   | アクロス福岡         |
| ◆DA シンポジウム'97 (DA)                            | H 9. 7. 10 (木) ～12 (土)  | フオーレ琵琶湖        |
| ◆チュートリアル MIDI プログラミング とコンピュータ音楽 (MUS)         | H 9. 7. 19 (土) ～20 (日)  | 京都府立ゼミナールウズ    |
| ◆ハイパフォーマンス・コンピュータシンポジウム (HPC)                 | H 9. 8. 18 (月)          | グリーンビュア阿蘇      |
| ◆日本語テキスト・システム・基礎講習会 (SLP)                     | H 9. 8. 21 (木) ～23 (土)  | 会津大学           |
| ◇電気情報関連学会連合大会                                 | H 9. 8. 22 (金)          | 日本学術会議講堂       |
| ◆モバイルコンピュータ'97 (MBL)                          | H 9. 9. 19 (金)          | ランド・マークタワー     |
| ◇第55回全国大会                                     | H 9. 9. 24 (水) ～26 (金)  | 福岡工業大学         |
| ◆人工生命手法とその応用 (MPS)                            | H 9. 10. 17 (金) ～18 (土) | 東京農工大学         |
| ◆コンピュータシステム・シンポジウム (OS)                       | H 9. 11. 6 (木) ～ 7 (金)  | 未 定            |
| ○形式記述技法と通信プロトコルに関する<br>合同国際会議 (FORTE/PSTV'97) | H 9. 11. 25 (火) ～28 (金) | 大阪 NEC         |
| ◆情報メディアシンポジウム'97 (IM)                         | H 9. 11. 27 (木) ～28 (金) | 工学院大学          |
| ◆利用者指向の情報システムシンポジウム (IS)                      | H 9. 12. 4 (木) ～ 5 (金)  | 東 京            |
| ◆アルゴリズムと知的所有権 (MPS)                           | H 9. 12. 12 (金) ～13 (土) | 東京農工大学         |
| ◆アドバンスド・データベースシステムシンポジウム'97                   | H 9. 12                 | 未 定            |
| ◆1998 年情報学シンポジウム (FI)                         | H 10. 1 中旬              | 日本学術会議講堂       |
| ◆ATM Network の構築と運用方法関連 (DSM)                 | H 10. 1                 | 未 定            |
| ○情報ネットワークワークショップ (ICOIN)                      | H 10. 1                 | 未 定            |
| ◆デジタル・トキメントシンポジウム (DD)                        | H 10. 1. 23 (金)         | 工学院大学          |
| ◆ウインターワークショップ (SE)                            | H 10. 1                 | 未 定            |
| ◆インタラクション'98 (HI)                             | H 10. 2. 5 (木) ～ 6 (金)  | 東京大学           |
| ◇第56回全国大会                                     | H 10. 3                 | 中央大学           |

◆ 研究会主催 (英略称)

◇ 事業主催/プログラミング・シンポジウム

● 総 会

○ 国際会議

## 情報処理学会第 54 回全国大会（1997 年前期）プログラムと参加案内（2）

### 「情報処理のグローバル化を目指して－国際化への対応－」

情報処理学会第 54 回全国大会を 1997 年 3 月 12 日（水）～ 14 日（金）の間、千葉工業大学（千葉県習志野市）において開催します。この大会は、「情報処理のグローバル化を目指して－国際化への対応－」のスローガンの下、全国大会としては初めて **ACM** との協賛による特別セッションを設けた国際色豊かな大会となります。

皆さま方の、奮ってのご参加をお待ちしております。（★印は入場無料）

- 日 時** 1997 年 3 月 12 日（水） 9：00～17：00  
 13 日（木） 10：00～17：00  
 14 日（金） 9：00～17：00
- 会 場** 千葉工業大学津田沼キャンパス  
 （千葉県習志野市津田沼 2-17-1, Tel(0474)78-1135 Fax(0474)78-1136）  
 習志野文化ホール  
 （千葉県習志野市谷津 1-16-1, Tel(0474)79-1212）  
 （社）情報処理学会
- 主 催** The Association for Computing Machinery (ACM), ACM 日本支部  
**協 賛** （詳細なプログラムは本号に掲載）  
**講演概要** 【習志野文化ホール】[3 月 13 日（木）]  
 ★会長挨拶・表彰式 10：00～10：30  
 ★招待講演 10：30～11：30  
 「感性科学への招待」 大橋 力（千葉工大）  
 ★招待講演 & ACM トラック基調講演 12：30～13：30  
 “The Next Fifty Years of Computing” Chuck House (ACM 会長)  
 ★ACM トラック特別講演 13：30～16：20  
 “Web Technologies Applied to Network Management” Steve Bourne (Cisco Systems)  
 “Tuxedo: The Framework for Scalable Distributed Applications” Bill Coleman (BEA Corporation)  
 【千葉工業大学津田沼キャンパス】[3 月 12 日（水）～ 14 日（金）]  
 ★公開パネル（1） 12 日（水）12：30～14：30  
 「Digital Academic Society－学会の電子化と将来」  
 コーディネータ 安村通晃（慶大）  
 パネリスト 奥乃 博（NTT），塚本享治（電総研），名和小太郎（関大），真名垣昌夫（NEC）  
 ★公開パネル（2） 14 日（金）12：30～14：30  
 「高度データベースへの展望」  
 コーディネータ 西尾章治郎（阪大）  
 パネリスト 上林彌彦（京大），新宅正明（日本オラクル），鈴木幸市（NTT データ），  
 田中克己（神戸大），増永良文（情報大）  
 ●一般セッション（960 件）12 日（水）9：00～17：00，13 日（木）14：30～17：00，  
 14 日（金）9：00～17：00  
 アーキテクチャ，ソフトウェア科学・工学，人工知能と認知科学，データベースとメディア，  
 ネットワーク，インタフェース，コンピュータと人間社会，その他。  
 ●インダストリアルチュートリアル（1） 12 日（水）9：00～11：30  
 「インターネットの現状と動向～Java と ActiveX～」  
 ・インターネットの現状と動向－ 石田晴久（東大）  
 ・Java の全貌－ 樋口貴章（日本サン・マイクロシステムズ）  
 ・ActiveX の全貌－ 萩原正義（マイクロソフト）  
 ●インダストリアルチュートリアル（2） 12 日（水）14：45～17：00  
 「インターネットのセキュリティとビジネス応用」  
 ・インターネットセキュリティ－ 佐々木良一（日立）  
 ・インターネットのビジネス応用－ 沢田智明（日本 IBM）  
 ●懇親会 13 日（木）17：30～ 5 号館 6F  
 ●デモセッション 14 日（金）9：00～11：30，13：30～17：00  
 （11 件）

- 大会情報 学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>)
- 交 通 千葉工業大学, 習志野文化ホールともに JR 総武線・津田沼駅徒歩 1 分, 京成津田沼駅徒歩 10 分, 新京成津田沼駅徒歩 3 分 (詳細地図は次号をご参照ください。)
- 参 加 費 会 員 2,000 円 (情報処理, 電気, 電子情報通信, 映像情報メディア, 照明, ACM の各学会会員)  
非会員 4,000 円  
学 生 無料
- \* 今回からプログラム (ACM Track, 公開パネル, インダストリアル・チュートリアル の予稿を含む) は別売になりましたのでご注意ください。  
価格: 1,000 円
- \* 習志野文化ホールでのイベントおよび公開パネル (1) (2) は会員・非会員を問わず無料
- 併 設 WWCA '97 (The Worldwide Computing & its Applications '97)  
於 3 月 10 日 (月) つくばエキスポセンター, 11 日 (火) 筑波第 1 ホテル
- プログラム委 員 長: 増永良文 (情報大)
- プログラム副委員長: 安村通晃 (慶大)
- 委 員: 船津剛男 (東芝), 村上憲也 (NTT データ), 塚本享治 (電総研), 滝沢 誠 (電機大), 佐藤和夫 (日本 IBM), 中島 浩 (京大), 長 光雄 (沖電気), 岩澤京子 (農工大), 太田敏澄 (電通大), 佐藤和洋 (日立), 村田 硯 (三菱), 久光 徹 (日立), 加藤 浩 (NEC), 森島繁生 (成蹊大), 宮崎収兄 (千葉工大)

## 第 10 回学協会共通問題に関する討論会

- 日 時 平成 9 年 4 月 17 日 (木) 13:00 ~ 16:30
- 会 場 鹿島 KI ビル 地下大会議室 [東京都港区赤坂 6-5-30 Tel(03)5561-2111]
- 主 催 社団法人 日本工学会
- プログラム (予定)
- 第 1 部 学術団体設立の歴史と今後の生き方  
工学会の設立と専門別分化の歴史 (仮題) 岡本義喬 (元土木学会事務局長)  
学術情報発信基地としての学協会のあり方 (仮題) 大橋秀雄 (工学院大学学長/日本学術会議第 5 部副部長)
- 第 2 部 パネル討論会「21 世紀へ向かって学協会の生きる道 (Part II)」  
パネリスト (予定) 市川淳信 (人事院人事官), 神崎昌久 (溶接学会会長/新日本製鐵(株)常任顧問), 石原研而 (地盤学会会長/東京理科大学教授), 加藤邦紘 (NTT(株)理事・マルチメディアシステム総合研究所所長), 小宮山宏 (東京大学大学院教授)
- 参加申込 往復ハガキに, 氏名・勤務先あるいは自宅住所・勤務先・連絡先電話 (Fax) を記入し, 返信ハガキにご自身の住所・氏名を明記して, 平成 9 年 4 月 5 日 (土) までにお申し込みください。地図を入れた「参加証」をお送りいたします。
- 照 会 先 (社) 日本工学会 〒107 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル Tel(03)3475-4621 Fax(03)3403-1738

## 情報処理学会第 54 回全国大会（於：千葉工業大学） 参加および論文集予約案内

第 54 回（平成 9 年前期）全国大会の「講演論文集」ならびに「参加」の予約受付を開始いたします。論文集は売切れになる場合がありますので、お早めにご予約ください。

なお、「講演論文集」は、大会会場渡しまたは大会終了後の有料発送となります。また「参加」については、当日参加申込みも可能ですが、論文集等の購入は先着順となります。

大会 A 会場（習志野文化ホール）で開催される招待講演、千葉工業大学で開催される公開パネル討論は入場無料です。

- 期 程** 平成 9 年 3 月 12 日（水）～ 14 日（金）  
**場 所** 千葉工業大学津田沼キャンパス（千葉県習志野市津田沼）  
**文 集** B5 判オフセット印刷（発行日：平成 9 年 3 月 12 日）  
**加 費** 会 員 2,000 円（情報処理（賛助会員は会員に準ず）、電子情報通信、電気、照明、映像情報メディア、ACM 各学会会員）  
 非会員 4,000 円  
 学 生 無料

会プログラム 1,000 円（プログラムは別売になりましたのでご注意ください。）

### 文 集 内 容

- 第 1 分冊 ・アーキテクチャサイエンス（計算機アーキテクチャ、システムソフトウェアとオペレーティングシステム、ハイパフォーマンスコンピューティング、設計自動化）  
 ・ソフトウェア科学・工学（アルゴリズム、数理モデル化と問題解決、ソフトウェア工学、プログラミング）
- 第 2 分冊 ・人工知能と認知科学（人工知能、自然言語処理、音声言語情報処理、視覚情報処理、音楽情報科学）
- 第 3 分冊 ・データベースとメディア（データベース、情報検索、メディアと情報）  
 ・ネットワークサイエンス（マルチメディア通信と分散処理、分散システム運用、マルチメディア符号化）
- 第 4 分冊 ・インタフェースサイエンス（ヒューマンインタフェース、グループウェア、グラフィクスと CAD、仮想現実感）  
 ・コンピュータと人間社会（情報システム、コンピュータと教育学習、コンピュータと社会、医療分野への応用、企業活動への応用、標準化、その他）
- CD-ROM （全 4 分冊を 1 枚に収録）  
 利用方法 WWW ブラウザ（例：Netscape 等）でご覧ください。  
 Windows, Macintosh, Unix に対応しています。  
 目次の論文名を選択することにより該当する論文を表示します。  
 データ形式 論文は画像データとして収録しています。

- 文 集 予 約 価 格**
- ・ 1 冊各 7,000 円（定価 9,000 円消費税込）（1 冊につき CD-ROM1 枚付き）
  - ・ 1 セット 24,000 円（定価 32,000 円消費税込）（論文集 4 冊一揃、講演者索引、カバー付）  
 （1 セットにつき CD-ROM1 枚付き）
  - ・ CD-ROM のみ 6,000 円

- 料**
- ・ 4 冊以下およびセット 全国一律 800 円
  - ・ 5 冊 1,400 円：北海道・九州  
 1,200 円：北東北（青森、秋田、岩手）・西近畿（京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫）・中国・四国  
 1,000 円：関東・甲信越・南東北（山形、宮城、福島）・東海・北陸・岐阜・東近畿（滋賀、三重）  
 800 円：東京 23 区
  - ・ CD-ROM のみ 全国一律 500 円

**込 要 領** 参加、論文集ともに第 54 回全国大会予約申込書（本会告 34 頁掲載）を事務局へ郵便、Fax、または e-mail でお送りください。（電話による予約は不可）

**込 締 切** 平成 9 年 2 月 28 日（金）必着（その後は定価販売となります、ご注意ください）

情報処理学会第 54 回全国大会予約申込書  
(お一人 1 枚にて、下記ご記入ください)

| 分 冊                    | 予約価        | 定価       | 部数 | 金 額 |
|------------------------|------------|----------|----|-----|
| 第 1 分冊 (a.) (CD-ROM 付) | 7,000 円    | 9,000 円  |    |     |
| 第 2 分冊 (b.) (CD-ROM 付) | 7,000 円    | 9,000 円  |    |     |
| 第 3 分冊 (c.) (CD-ROM 付) | 7,000 円    | 9,000 円  |    |     |
| 第 4 分冊 (d.) (CD-ROM 付) | 7,000 円    | 9,000 円  |    |     |
| セ ッ ト (e.) (CD-ROM 付)  | 24,000 円   | 32,000 円 |    |     |
| CD-ROM (f.)            | 6,000 円    | 6,000 円  |    |     |
| 大会プログラム (g.)           | 1,000 円    | 1,000 円  |    |     |
| 送 付 法 (h.)             | ・ 会場で受け取る  |          |    |     |
| (i.)                   | ・ 送付希望     |          |    |     |
| 入場予約 (j.)              | 会員 2,000 円 |          |    |     |
| (k.)                   | 一般 4,000 円 |          |    |     |
| 合 計 (l.)               |            |          |    |     |

注 1. 送料は、前頁掲載の会告「第 54 回全国大会参加および論文集予約案内」をご参照ください。

注 2. 大会会場での受け取りを希望される場合の送料は不要です。

注 3. 送付を希望され、その後会場受け取りに変更の場合の送料は返金いたしません。

注 4. 大会受付での混乱を避けるため、代金の当日会場払いは受け付けません。

注 5. 大会会場での CD-ROM 販売価格は 1 枚 6,000 円 (消費税込) です。

支払方法・現金書留で\_\_\_\_月\_\_\_\_日送金 (m.)

・郵便振替 (00150-4-83484) で\_\_\_\_月\_\_\_\_日送金 (n.)

・銀行振込で・第一勧業銀行虎ノ門支店普通 1013945 (o.)

・東京三菱銀行虎ノ門公務部普通 0000608 (p.)

以上、名義人 社団法人 情報処理学会

・東京三菱銀行虎ノ門公務部 0003774 (全国大会専用口座) (q.)

名義人 社団法人 情報処理学会講習会

\_\_\_\_月\_\_\_\_日送金

送金人名義 (r.) \_\_\_\_\_

請求書類 請求書\_\_\_\_通 (s.) 見積書\_\_\_\_通 (t.) 納品書\_\_\_\_通 (u.)

申込み先 (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail:jigy@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

e-mail でお申し込みの際は、学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) をご覧ください。

連絡・送付先 (v.) \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

機関・部課名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (会員番号: \_\_\_\_\_)

Tel.( ) - (ext. ) Fax. -

## 全国大会講演論文集継続購入者のご案内

本学会では、毎年2回開催される全国大会の講演論文集を定期配本いたしております。これは、各全国大会の開催初日に発行される講演論文集を、論文集CD-ROM1枚の付録付き全4分冊1セットで大会終了後速やかにお手元にお送りするシステムで、毎回の全国大会のたびに予約する必要もなく、また送料も無料となっており、現在270件の個人、企業、教育機関の方々からご好評をいただいております。ぜひご利用ください。

頁 価：1セット 24,000円（消費税込）

ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、郵便、Fax、またはe-mailにて下記申込み先までお送りください。

### 記

下記のとおり、全国大会論文集を継続購入で申し込みます。

・申込部数：第 回全国大会から セット

・請求必要書類：

請求書 通、 納品書 通、 見積書 通

・請求書宛名

注・指定の用紙があればお送りください)

・ご担当者名（必ずご記入ください、また担当者変更の際は必ずご連絡ください）

Tel.( ) - (ext. )

・申込み先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
(社) 情報処理学会 事業係  
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

・送 本 先  
住所 〒

機関・部課名

氏名

殿

Tel( ) - (ext. )

Fax( ) -

# 情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 欠席の場合も参加費は返金いたしません。
- ・ 会員の方は必ず会員 No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

| 申込者 (A は該当番号に○) |         |               |         |         |
|-----------------|---------|---------------|---------|---------|
| A : 会員/非会員      | (1) 会員  | (2) 主催研究会登録会員 | (3) 学生  | (4) 非会員 |
| B : 会員 No.      |         |               | C : ご氏名 |         |
| D : 勤務先         |         |               | E : ご所属 |         |
| F : 郵便番号        | G : ご住所 |               |         |         |
| H : Tel         |         |               | I : Fax |         |
| J : e-mail      |         |               |         |         |

| 送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入 |  |
|----------------------------|--|
| K :                        |  |

| 申込行事        |   |
|-------------|---|
| L : 行事 No.  |   |
| M : 参加費     | 円 |
| N : 懇親会費    | 円 |
| O-1 : 論文集のみ | 円 |
| O-2 : 論文集のみ | 冊 |

| アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考) |                                       |
|-------------------------|---------------------------------------|
| P : 性別                  | (1) 女性 (2) 男性                         |
| Q : たばこ                 | (1) すう (2) すわない                       |
| R : 年齢                  | (1) 20 代 (2) 30 代 (3) 40 代 (4) 50 代以上 |
| S : 通信欄                 |                                       |

|                                        |                                           |             |
|----------------------------------------|-------------------------------------------|-------------|
| T : 支払方法<br>(該当番号に○)                   | (1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 ( 月 日に送金予定) *  |             |
|                                        | (2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 ( 月 日に送金予定) * |             |
|                                        | (3) 郵便振替 (00150-4-83484) ( 月 日に送金予定) *    |             |
|                                        | (4) 当日持参                                  |             |
|                                        | (5) 現金書留                                  |             |
| [名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入 |                                           |             |
| U : 送金名義人                              |                                           |             |
| V-1 : 請求書 通                            | V-2 : 見積書 通                               | V-3 : 納品書 通 |
| W : 請求書記載名義                            |                                           |             |
| X : 送金に関する問合せ先                         |                                           |             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係</p> <p>〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F</p> <p>Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p>e-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>* e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎,... T : (1) (1 月 30 日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) ××電気,...</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## The Worldwide Computing and Its Applications '97 (WWCA97)

## 第1回ワールドワイドコンピューティング国際会議 参加者募集

筑波エキスポセンター, 筑波第一ホテル 1997年3月10日(月), 11日(火)

## 主催

情報処理学会 (IPSJ)  
電子技術総合研究所 (ETL)  
情報処理振興事業協会 (IPA)

## 協賛

Association for Computing Machinery  
(ACM)  
電子情報通信学会 (IEICE)

## General Chair

相磯秀夫 (慶応義塾大学)

## Organizing Chair

淵 一博 (慶応義塾大学)

## Program Chair

益田隆司 (東京大学)

## Executive Co-Chairs

増永良文 (図書館情報大学)  
塚本享治 (電子技術総合研究所)

## WWCA97 事務局

吉田純子 (株) アイキューブつくば  
〒305 茨城県つくば市春日 4-1-15  
電話/FAX: 0298-55-2177  
E-mail: wwca97-sec@etl.go.jp

◆ ネットワークを活用するワールドワイドなソフトウェア開発と利用を目的とした国際会議をつくばで開催します。この会議は、内外の研究者と技術者による分散プログラミング言語、分散プラットフォーム、分散開発環境、分散ハイパーメディア、分散アプリケーションなどに関する発表と討論の場となることをねらっています。これらの分野の著名な研究者による招待発表および一般公募による研究発表が行われます。これらの分野で研究されている方、および興味をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

◆ 基調講演者として、Ken Urquhard (JavaSoft) と Ronald L. Rivest (RSA Data Security) を予定しています。会議プログラムは、下記のホームページに掲載してありますのでご覧ください。

◆ 参加登録については、以下のホームページをご覧ください。参加希望者は、ホームページより参加申し込み書をダウンロードし、2月28日までに電子メールまたはFAXにてWWCA97事務局にお送り下さい。

◆ <http://www.etl.go.jp/etl/bunsan/wwca97.html>

## 発表者

Kenneth P. Birman (Cornell University)  
Lawrence Cavedon (RMIT University)  
Jonathan T. Grudin (UCLA)  
Satoshi Hirano (ETL)  
Bob Kummerfeld (University of Sydney)  
Wen-Syan Li (NEC USA)  
Eric Manning (University of Victoria)  
Paul Messina (California Institute of Technology)

Hideyuki Nakashima (ETL)  
Ted Nelson (Keio University)  
Shojiro Nishio (Osaka University)  
Katsumi Tanaka (Kobe University)  
Kurt Wallnau (Software Engineering Institute, CMU)  
Suguru Yamaguchi (Nara Institute of Science and Technology)  
他 16 人

|        |       |
|--------|-------|
| 行事 No. | RS-96 |
|--------|-------|

**情報処理学会 連続セミナー 96**  
**“ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術”**  
**参加者募集**

現在、標記セミナーの参加者を下記のとおり募集しております。奮ってご応募願います。

記

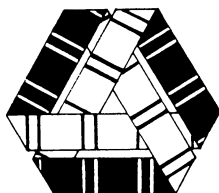
会 場 工学院大学 3F 312 教室（東京都新宿区西新宿）  
 締 切 定員（250 名、学生は 20 名）になり次第締め切ります。  
 資 料 当日配布  
 参 加 費 正・賛助会員 18,000 円 非会員 25,000 円 学生 2,500 円  
 申込方法 「行事申込書」を使い、郵便、Fax., e-mail でお申し込みください。

**第 6 回 平成 9 年 3 月 28 日（金）「電子商取引の現状と将来」**

|             |                   |                                              |            |
|-------------|-------------------|----------------------------------------------|------------|
| セッション 1     | 10 : 00 ~ 11 : 15 | 電子商取引の技術動向                                   | 伊土誠一（NTT）  |
| セッション 2     | 11 : 30 ~ 12 : 45 | 電子商取引の社会的側面                                  | 田坂広志（日本総研） |
| セッション 3     | 14 : 00 ~ 15 : 15 | 電子商取引のセキュリティ                                 | 片岡雅憲（日立）   |
| パネルディスカッション | 15 : 30 ~ 17 : 30 | 「EC（Electronics Commerce）は社会をどうかえるか」         |            |
|             |                   | コーディネータ：細谷僚一（NTT ソフトウェア）                     |            |
|             |                   | パネリスト：伊土誠一（NTT）、田坂広志（日本総研）、片岡雅憲（日立）、村田 誠（電通） |            |

- ・内容および日程、日時が多少変更される場合がございます。ご了承願います。
- ・過去 6 年分の資料はすべて在庫がございます。（1 部 5,000 円送料・税込）

**会議案内**



各国際会議末のコードは、整理番号です。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

|       |      |       |       |
|-------|------|-------|-------|
| 1.開催日 | 2.会場 | 3.照会先 | 4.その他 |
|-------|------|-------|-------|

**【国内会議】**

◆平成 9 年電気学会電子・情報・システム部門大会

1. 平成 9 年 8 月 28 日（木）～ 29 日（金）2. 成蹊大（武蔵野市）3. （社）電気学会 Tel(03)3221-7313

◆平成 9 年度第 1 期教育講座「情報通信ネットワークコース」

1. 平成 9 年 6 月 19 日（木）～ 27 日（金）2. 神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区）3. （財）神奈川科学技術アカデミー  
 Tel(044)819-2033 Fax 819-2026

## 「グラフィクスとCAD シンポジウム」論文募集 (Visual Computing '97 と合同開催)

グラフィクスとCADの応用が盛んになるにつれて、関連分野（たとえば、コンピュータビジョン、ネットワーク、芸術など）を含む、より広い視点に立って、研究を進める必要性が高まってきました。本研究会では、過去13回、標記シンポジウムを開催し、大きな成果を得てまいりましたが、本年は新しい試みとして、画像電子学会 Visual Computing 研究委員会との共催による合同シンポジウムを、下記のとおり計画しております。活発な議論を喚起する論文の応募をお願いいたします。

日 程 平成9年6月4日(水)・5日(木)  
会 場 早稲田大学 国際会議場(東京都新宿区)  
主 催 情報処理学会 グラフィクスとCAD研究会  
画像電子学会 Visual Computing 研究委員会

### 論文の募集要領

- テ ー マ 主なキーワードは下記のとおりですが、これらに限るものではありません。
- ・グラフィクスの基礎：
    - 表示、レンダリング、データ構造とデータベース、計算幾何学
  - ・グラフィクスシステム：
    - グラフィクス言語、ソフトウェアパッケージ、入出力デバイス、グラフィクスハードウェア、ユーザインタフェース、ネットワーク用グラフィクス、標準化
  - ・グラフィクスの応用：
    - マルチメディア、アニメーション、アート、人工現実感、自然物表現、グラフィクスとビジョンの融合、実写合成、ビジュアライゼーション、文書処理
  - ・CAD：
    - 設計方法論、幾何モデル、位相モデル、図面入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェントCAD

- 実施方法
- (1) 発表に対する質疑討論の時間を長めにとり、討議重視のシンポジウム運営を予定しております。完成された研究論文のみならず、問題提起、新しい試み、提案など、様々な性格のオリジナル論文を歓迎します。
  - (2) 論文内容が伝わる概要を、A4用紙2枚以内(様式任意、1000～2000字程度、必要なら図表添付可)にまとめ、下記にお送りください。題名、氏名、所属、連絡先、e-mailアドレス、キーワードを明記してください。なお、e-mailによる概要の投稿も歓迎いたします。
  - (3) 応募された論文概要に基づき、シンポジウム実行委員会で審査いたします。採択されたものにつきましては、カメラレディ(A4用紙2～8枚)の予稿を提出していただきます。
- \*採択された論文の登壇発表者は山下記念研究賞の選考対象となります。

スケジュール

|                |                 |
|----------------|-----------------|
| (1) 論文概要締切     | 平成9年3月7日(金) 必着  |
| (2) 論文審査結果通知   | 平成9年3月下旬        |
| (3) カメラレディ原稿締切 | 平成9年4月18日(金) 必着 |

論文概要送付/照会先 斎藤隆文 e-mail:saito@cg.mrb.ntt.co.jp Tel(0422)59-4720 Fax(0422)59-4224  
〒180 武蔵野市緑町3-9-11 NTTヒューマンインタフェース研究所 5-402A

参加費 会員：8,000円 研究会登録会員：6,000円 学生：3,000円 非会員：10,000円  
(いずれも論文集代込)

## 「マルチメディア、分散、協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ」論文募集

DiCoMo : Multimedia, Distributed, Cooperative and Mobile

「マルチメディア通信と分散処理」, 「グループウェア」, 「モバイルコンピューティング」研究会では, OSI やインターネットを中心とした通信技術から, マルチメディア通信, 分散システム等の種々の分野について活発な論文発表や議論が行われてきています。昨年 6 月には, この分野で権威のある IEEE の ICPADS が上記研究会を中心として東京で開催され, 活発な議論が行われました。また, 今年度には, IFIP の FORTE/PSTV や ICOIN の国際会議も国内で開催される予定です。こうした状況の中で, 本ワークショップは, 「マルチメディア通信と分散処理」, 「グループウェア」, 「モバイルコンピューティング」における研究活動をより活発にするとともに, 今後の研究のあり方を検討するため, 合宿形式により, 論文発表と広範囲な視野にたった有益な議論を行うことを目的とします。

ICPADS: International Conference on Parallel and Distributed Systems

FORTE/PSTV: International Conference on Formal Description Techniques/Protocol Specification, Testing and Verification

ICOIN: International Conference on Information Networking

日 程 平成 9 年 7 月 2 日 (水) ~ 4 日 (金)  
会 場 ニセコいこいの村 (ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園ニセコアンヌプリ温泉)  
主 催 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会  
グループウェア研究会  
モバイルコンピューティング研究会

### 論文の募集要領

**対象分野** OSI, ATM, LAN, プロトコル, インターネット, イントラネット, マルチメディア通信, 分散 OS, 分散データベース, モバイルコンピューティング, グループウェア, ネットワークセキュリティ, 分散 CAI, 分散 CASE などの「マルチメディア通信と分散処理」, 「グループウェア」, 「モバイルコンピューティング」に関する分野。

**応募方法** (1) 学術的な研究論文のみならず, 事例報告, 問題提起などの論文も歓迎します。  
(2) 400 字以内の論文概要を提出してください。なお上記論文概要には, 題名, 著者名, 所属, 連絡先 (住所, Tel, Fax, e-mail) を併記してください。なお, e-mail での投稿も認めます。  
(3) 応募論文は, 本ワークショップ実行委員会で審査します。  
(4) 採択されたものについては, 本論文 (本研究会様式で 6 ページ以内) を提出していただきます。

**スケジュール** (1) 論文概要提出締切 平成 9 年 3 月 28 日 (金) 必着  
(2) 論文審査結果通知 平成 9 年 4 月中旬  
(3) カメラレディ原稿締切 平成 9 年 6 月上旬

**申込/照会先** マルチメディア通信と分散処理 (DPS) 小花貞夫 KDD 研究所ネットワーク管理グループ  
e-mail: obana@lab.kdd.co.jp Tel(0492)78-7320  
Fax(0492)78-7510 〒356 上福岡市大原 2-1-15  
グループウェア (GW) 宗森 純 大阪大学大学院基礎工学研究科  
e-mail: munemori@ics.es.osaka-u.ac.jp  
Tel(06)850-6598 (事務室 6597) Fax(06)850-6599  
〒560 豊中市待兼山 1-3  
モバイルコンピューティング (MBL) 森原一郎 NTT 情報通信研究所第 4 プロジェクト  
e-mail: morihara@isl.ntt.co.jp Tel(0468)59-3674  
Fax(0468)59-3743 〒239 横須賀市光の丘 1-1

**参加費 (予定)** 会員: 45,000 円 研究会登録会員: 40,000 円 学生: 30,000 円 非会員: 50,000 円  
(いずれも論文集代, 宿泊費 (2 泊 3 日) 込)

## 会員の皆様へのお知らせ・お願い

### [平成9年度会費および論文誌購読費の納入について]

平成9年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を個人会員（一括扱い会員は除く）の方へ、先月中旬発送いたしましたのでご納入いただきますようよろしくお願いいたします。また、転居先不明、転送期間経過等の理由により返戻となり発送ができない会員の方々がいらっしゃいます。お近くに、納付書あるいは機関誌等が届いていないという会員の方がいらっしゃいましたら、至急事務局会員係までお知らせくださいますようお願いいたします。

### [新入会員勧誘のお願い]

情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、お近くに入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア（旧テレビジョン）各学会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、正会員入会金（2,000 円）が免除となります。

なお、入会に関する詳しいご案内については、「入会のおすすめ」（3 月・9 月号巻末）または本会の WWW ホームページ URL-<http://www.ipsj.or.jp/>をご参照いただくか、必要部数ならびに送付先住所をご記入のうえ下記宛にご請求ください（e-mail, FAX 可）。

### [会費および購読費の口座自動払込制度のご案内]

会費および購読費のご納入には、手続きが簡単で便利な自動払込制度をご利用ください。個人会員の方で銀行あるいは郵便局に口座をお持ちのかたならどなたでも登録できます。申込等詳細につきましては 10 月号（会告 29 頁）をご参照ください。

### [論文誌のご購読について]

「情報処理学会論文誌」（月刊）は有料頒布です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをお勧めいたします。新規購読を希望される方は、会費請求専用郵便振替用紙の通信欄にその旨をご記入いただき、論文誌購読費 5,930 円（消費税込）を加算の上ご送金いただくか、「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末添付）でその旨をご連絡いただき、別途郵便局備付けの振込用紙等をご利用いただきご送金ください。

### ・「情報処理学会論文誌」購読料

平成9年度より消費税率の変更等にもない論文誌の購読料が次のとおりとなります。

|        |       |                                      |
|--------|-------|--------------------------------------|
| ・年間購読料 | 会 員   | 6,930 円（購読料 6,600 円 + 消費税 330 円）     |
|        | 賛助会員  | 6,930 円（購読料 6,600 円 + 消費税 330 円）     |
|        | 国内購読員 | 28,224 円（購読料 26,880 円 + 消費税 1,344 円） |
|        | 非 会 員 | 17,010 円（購読料 16,200 円 + 消費税 810 円）   |

### [機関誌等の送付先、会員登録データ変更について]

2 月から 5 月にかけては、就職・進学・転勤・引越し等会員の異動があるため、機関誌等の返戻が多数発生いたします。送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末添付）等書面にて下記宛にご連絡ください（e-mail, FAX 可）。電子メールをご利用の際には、必ず会員番号、氏名を明記願います。毎月 20 日締切で、翌月号から変更となります。また、会員登録データの追加（連絡先電子メール等）、変更連絡も同様に願います。

### [退会について]

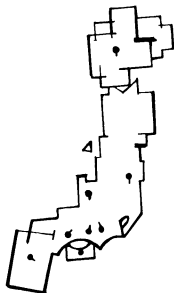
退会を希望される方は、会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したものを書面等にて下記宛にご連絡ください（e-mail, FAX 可）。なお、会費および論文誌購読費未納の方には、退会届受理後、別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記願います。

※ 会 先 情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

## 支部だより



## 情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内  
e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819 Fax(011)706-6819

東北支部 〒982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学通信工学科内  
e-mail:SJK11802@mgw.shijokyo.or.jp Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521

北陸支部 〒910 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部情報工学科小倉研究室内  
e-mail:ipsjhokuriku@rook.fuis.fukui-u.ac.jp Tel(0776)27-8586 Fax(0776)27-8751

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付  
e-mail:infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部 〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内  
e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp Tel(0824)24-7663 Fax(0824)22-7195

四国支部 〒790-77 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部内  
e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963 Fax(089)927-9973

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル  
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内  
e-mail:tani@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)475-5123 Fax(092)475-5185

\* 各支部の最新情報は <http://www.ipsj.or.jp> からリンクしています。

## 北海道支部 情報処理北海道シンポジウム'97 (一 Info-Hokkaido '97 一)

日 時 平成9年5月7日(水)～8日(木)9:00～17:00

会 場 北海道大学 学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

特別講演 日 時 平成9年5月7日(水)13:00～14:30(聴講自由, 無料)

演 題 北海道の情報ネットワーク環境の展望(仮題) 佐藤 登氏(NTT 北海道支社)(予定)

チュートリアル 日 時 平成9年5月7日(水)9:00～12:00(有料)

内 容 インターネット・コミュニケーションのためのツールホームページ作成の最新技術を中心

講 師 村田利文氏(ビジョン・コーポレーション)他

参 加 費 情報処理学会会員および賛助会員 2,000 円

一 般 3,000 円

学 生(大学院生を含む) 1,000 円

申込方法 電話, Fax, 電子メールまたは葉書で, 住所, 氏名, 電話番号, 所属学会, 勤務先または大学名・学科・学年を事務局まで連絡すること。申込みは, 開催日の1週間前まで。定員(30名)になり次第締切り。

一般講演 日 時 平成9年5月7日(水)～8日(木)9:00～17:00(聴講自由, 無料)

講 演 者 特に制限なし(登壇発表は1人1件とする)

講演内容 情報処理に関する最近行った研究および調査の報告, 新しい企画および開発の報告, 新製品(ソフトウェア, ハードウェア, システム)の紹介など。

講演時間 形式(1)15分以内(質疑応答時間を含む)

形式(2)30分以内(質疑応答時間を含む)

講演形式 OHPの使用のみとする。

講演予稿 オフセット印刷による。公募原稿は所定のLaTeX形式を使用すること。講演者には講演論文集を1部進呈する(別刷は取り扱わない)。

申込方法 講演申込書は所定のLaTeX形式を使用すること。(公募原稿および講演申込書のLaTeXスタイルファイルは事務局およびinfo-hokkaido メーリングリストにて配布します)

講演参加費 予稿1頁につき2,000円(ただし4頁以内とする)

原稿提出先 事務局

原稿提出締切日 平成9年3月31日(月)17:00必着

講演申込書および原稿に講演参加費を添えて提出すること。

事務局 情報処理学会北海道支部

## 北海道支部 平成8年度北海道支部奨励賞の表彰

平成8年度北海道支部奨励賞は、下記の5君に授与されました。

論文発表 情報処理北海道シンポジウム'96 (平成8年4月18日～19日 北海道大学学术交流会館)

・ 活性伝播ネットワークを用いたナビゲーション問題の考察

西川 孝二君 (北海道大学工学部 昭和48年7月19日生)

・ 医用画像計測のための3次元ボリューム対話操作に関する研究方法

朝日 猛君 (北海道大学工学部 昭和48年1月3日生)

・ 揺らぎ駆動学習における揺らぎ振幅の離散化

上村 芳徳君 (北海道工業大学 昭和48年11月3日生)

論文発表 平成8年度北海道支部大会 (電気関係学会北海道支部連合大会) (平成8年10月12日～13日 北海道東海大学)

・ 陽イオンチャンネルタンパク質中の特徴配列の解析

田中 剛範君 (北海道大学工学部 昭和45年7月27日生)

・ エージェント間の協調によるイメージ生成の試み

荒田 秀樹君 (北海道大学工学部 昭和47年1月25日生)

## 東海支部 講演会

日時 平成9年3月7日 (金) 15:00～17:00

会場 豊橋技術科学大学 A1-201 教室

演題 インターネットメールのセキュリティ

和田英一氏 (富士通顧問／東大名誉教授)

参加費 無料 (参加資格は問いません)

照会先 豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘 1-1 豊橋技術科学大学情報工学系 梅村恭司

Tel(0532)44-6762 Fax(0532)44-6757

## 東海支部 講習会「3D 共有環境の構築—運用の実際、可能性」

日程 平成9年3月17日 (金)

会場 ソフトピアジャパン (大垣市加賀野 4-1-7)

演題および講師

開催挨拶 (東海支部長)

後藤宗弘氏 (岐阜大工学部)

3D 共有環境の共有運用— JOVA

関口敦仁氏, 神成淳司氏 (国際情報科学芸術アカデミー)

VR ミュージアム, VRML サーバーの運用と環境構築について

桜谷慎一氏 (SONY NBI 部門情報サービス事業推進室)

マルチメディアコンテンツ製作における, WEB の運用とデザイン開発の実際

末松亜斗夢氏 (アトム)

ショッピングモール運用技術とトラフィック情報サービス

孫工昇嗣氏 (西濃情報サービス)

主 員 100 名 (定員になり次第締切ります)

参加費 主催・共催会員 10,000 円 賛助会員 7,000 円 学生 5,000 円 一般 15,000 円

テキストのみ 3,000 円

申込方法 ハガキに「講習会申込み」と標記し, ①氏名, ②勤務先 (所属), ③連絡先 (住所・電話番号), 所属学協会名を明記してお申込みの上, 下記の方法で送金してください。入金確認次第, 参加証をお送りします。なお, e-mail でも受け付けます。テキストは当日受付にてお渡しします。

送金方法 銀行振込 (さくら銀行名古屋支店 普通預金 口座番号 5589017 情報処理学会東海支部)

申込/照会先 情報処理学会東海支部事務局

主催 情報処理学会東海支部

共催 電気学会東海支部, 電子情報通信学会東海支部, コンピュータ応用技術協会, 中部エレクトロニクス振興会, 東海インターネットワーク協議会, 経営情報学会東海支部

## 北陸支部 見学会

日 時 平成 9 年 3 月 10 日 (月) 15 : 30 ~ 17 : 30  
 見学先 北陸先端科学技術大学院大学 インテリジェントフロアー および NTT ネットワークセンター  
 集合場所 現地 (北陸先端科学技術大学院大学 講義棟正面入口)  
 (JR 小松駅下車タクシー約 30 分, または JR 西金沢駅にて北陸鉄道石川総線鶴来線に乗替え, 鶴来駅下車,  
 北陸先端科学技術大学院大学シャトルバスにて終点)  
 参加資格 情報処理学会会員  
 参加費 無料  
 申込締切 平成 9 年 3 月 3 日 (月) Tel または Fax でお申し込みください。  
 申込/照会先 情報処理学会北陸支部

## 関西支部 平成 8 年度第 2 回ソフトウェア研究会のご案内

3 次元コンピュータグラフィックスも随分身近なものになってきました。第 2 回の研究会では、インターネット、イントラネットにおけるビジュアライゼーションをテーマに、その現状と問題点、また今後について議論したいと思います。興味のある方はぜひともご参加ください。

日 時 平成 9 年 3 月 19 日 (水) 13 : 00 ~ 17 : 00  
 会 場 (財)関西情報センター 第 1 会議室  
 〒 530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8F Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443  
 テーマ 「ネットワーク時代のビジュアライゼーション」  
 講 師 日本シリコングラフックス・クレイ (株) 藤 龍実  
 (株)ケイ・ジー・ティー 宮地英生  
 アイリスエクスプローラセンター 神定春子, 千葉 弘  
 他  
 費 用 600 円 (資料代)  
 平成 8 年度のソフトウェア研究会に登録していただいている方は、無料です。なお、平成 7 年度に、新規にお申し込みいただいた方は、平成 8 年度も会員の扱いとなります。  
 申込方法 1. 所属機関名, 2. 部課・役職名, 3. 氏名, 4. 連絡先電話番号・Fax 番号をお書きの上, Fax にて情報処理学会関西支部事務局まで、お申し込みください。  
 \*受付番号をお知らせいたしますので、Fax でお申し込み後に電話にて着信をご確認ください。  
 申込/照会先 情報処理学会関西支部  
 詳細は、<http://www.kobe-c.ac.jp/ipsiksoft/>をご覧ください。

## 雑 報

## ○情報科学国際交流財団「研究者海外派遣助成」「外国人研究者交流助成」のお知らせ

情報科学の国際交流推進事業の一環として、研究者の国際的研究交流に要する費用の一部を助成しています。渡航時期によって募集期は年 3 期に分かれています。応募の資格、方法、締切日など詳細は下記にお問合せください。

照 会 先 〒 107 東京都港区南青山 5-10-5 九曜ビル 903 情報科学国際交流財団  
 e-mail:iisf@is.s.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5466-1761 Fax(03)5466-1762

## 人材募集



### ▶福岡大学工学部電子工学科

- 募集人員 講師以上 3 名  
 所属 電子情報工学科 (予定)  
 専門分野 計算機アーキテクチャ, オペレーティングシステム, 音声情報処理, 画像処理  
 募集資格 博士の学位 (取得見込みの方を含む) および専門分野での十分な研究業績を有する方  
 任職時期 平成 10 年 4 月 1 日 (予定)  
 提出書類 履歴書, 研究論文リスト, 論文別刷 (コピー可), 研究計画書  
 募集締切 平成 9 年 3 月 31 日  
 送付先/照会先 〒 814-80 福岡市城南区七隈 8-19-1 福岡大学工学部電子工学科 吉村賢治  
 Tel(092)871-6631(ext.6403) Fax(092)801-3568 e-mail: yosimura@tlsun.tl.fukuoka-u.ac.jp  
 郵送の場合「電子情報工学科教員応募書類在中」と朱書き書留  
 その他 照会はなるべく e-mail でお願いします。なお, 応募書類は返却いたしませんのでご承知おきください

### ▶上智大学理工学部電気・電子工学科

- 募集人員 講師, 助教授または教授 2 名  
 専門分野 (A) 電気電子工学関連の複合領域 (たとえば計測制御, 医用生体工学, 環境エネルギー, ロボティックス, 複雑系など)  
 (B) 情報システム (たとえば電子回路, 信号処理, 音声画像情報処理, 計算機アーキテクチャ, CAD など)  
 募集資格 工学博士の学位を有し年齢 50 歳以下の方が望ましい  
 任職時期 平成 10 年 4 月 1 日  
 提出書類 履歴書, 健康診断書, 業績一覧表 (著者名, 論文題名, 雑誌名, 巻, 号, 年, 頁), 主要論文別刷 (5 編以内), 研究・教育についての将来の抱負 (2000 字以内, 応募分野 A か B かを明記のこと), 推薦書 (指導教員またはこれに準ずる方), 応募者について参考意見を伺える方 2 名の連絡先 (所属, 職, 氏名, Tel, Fax)  
 なお, 業績一覧表, 主要論文別刷, 将来の抱負は各 2 部提出のこと  
 募集締切 平成 9 年 4 月 30 日 (必着)  
 送付先 〒 102 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学理工学部電気・電子工学科  
 Tel(03)3238-3320 Fax(03)3238-3321 「教員応募書類」と朱書き書留  
 照会先 電気・電子工学科長 金 東海 Tel(03)3238-3335 e-mail: chin@tokai.ee.sophia.ac.jp

**●広島大学工学部共通講座**

募集人員 教授 1 名  
所 属 応用数学講座  
専門分野 広い意味での数理科学  
担当科目 学部教育としては、工学部専門基礎教育（級数と常微分方程式，ベクトル解析，フーリエ級数と偏微分方程式，線形数値解析，確率・統計，変分法と有限要素法，物理数学，複素関数論など）の中から複数を，大学院教育としては，情報工学専攻において情報数学教育（数理論理学，離散数学，組合せ論など）の中から 1 つを担当  
応募資格 博士の学位を有し年齢 55 歳以上の方が望ましい  
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書，これまでの研究概要および今後の研究計画書，研究業績リスト，公表論文 10 編以内の別刷（コピー可）と要約，推薦書（健康に関する所見を含む）  
応募締切 平成 9 年 5 月 30 日（必着）  
送付先／照会先 〒 739 広島県東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部共通講座応用数学講座 柴 雅和  
Tel(0824)24-7603 e-mail:shiba@puramis.amath.hiroshima-u.ac.jp